

史料目録 第81集

**信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録
(その3)**

平成18年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

**国文学研究資料館
調査収集事業部**

史料目録 第81集

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書目録
(その3)



写真1 目録(その3)収録の請取書10件(9袋・1包)(解題13頁参照)



写真2 左は山田顕善筆の明治5年「書状入」袋書、
右は「請取書入」袋書(解題18頁参照)



写真3 1068の袋を開けたときの現状



写真4 大段ボール箱内の473の状態



写真5 大こおり内の1064~1071が束ねられた状況



写真6



写真7



写真8

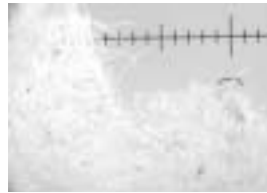


写真9

現地分より発見された渋紙の台湾文書がまとめて置かれていた敷紙類の状況（写真6）。2003年8月23日、渋紙の中に台湾文書や日本の文書が発見され、「台湾府」の文字が確認された（写真7）。剥離・修復後の嘉慶24（1819）年の史料（写真8）。倍率200倍で観察した竹繊維（写真9）。発見時に広げた渋紙「八丈」（八畳分）の全景（写真10）（口絵解説12頁参照）



写真10

凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第81集として「しなのくにたかいくんひがしえむらやまだしょうざえもんけもんじょ信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書（その3）」を収めた（以下では、目録（その3）と略す。他も同様）。目録（その1）は第75集として既刊、目録（その2）は第80集、目録（その4）は第85集として来年度刊行予定である。文書群名については、同村の山田理右衛門家文書（マイクロフィルム紙焼本）を史料館で所蔵しているので、これと区別するために通名をあわせて表記した。
- 2 目録の編成にあたっては文書群の階層構造に留意し、ISAD(G)（国際標準：記録史料記述の一般原則）の考え方も参考にしつつ、大・中・小項目で編成する方式をとった。大項目はすべてサブフォンドに相当し、中項目以下はシリーズまたはサブ・サブフォンドなどである。
- 3 袋・こより紐などによる一括史料は一括掲載し枝番号付与で物理的階層を示すことを原則とした。袋や包紙の表書を一括表題として採用した場合は「 」で表記した。小項目内は原則として現状（現秩序）順に配列した。
- 4 史料の集合的記述は、フォンドとサブフォンドのレベルで解題を記した。なお、目録（その1、2）と重複する説明も多いため、その内の一部の記述や図表については省略した。
- 5 史料1点ごとの記述は、表題・作成等（表題、作成 宛所、備考）、年代（作成年月日）、形態・数量、整理番号、の順に記載した。

表題は、冊子型史料も書付型史料も原表題もしくは柱書を取り、それが無い場合には（ ）で仮表題を付与した。原表題や柱書だけで不十分な場合は、その後（ ）で内容を摘記した。

形態は、冊子型史料の場合、半（半紙縦折判）、美（美濃紙縦折判）、横長半（半紙横折判）、横長美（美濃紙横折判）、横半半（半紙半裁横折判）、横美半（美濃紙半裁横折判）、などの略称によって原書の大概を示した。書付型史料の場合、縦紙、折紙、縦切紙、横切紙、縦継紙、横切継紙、小切紙、などと表記した。また絵図など大きいものは寸法をタテ×ヨコのようにミリ単位で表記した。

なお、端裏書、印刻、包紙・封筒上書等については、特に必要と思われる場合に、必要な部分に限って記した（表題・作成等との間で情報が重複する煩雑さを避けるため）。
- 6 本目録では史料が保管されてきた秩序に応じて史料番号を付与したため、目録上で史料が番号順に並んでいない。そのため番号による検索には不便をきたすので、史料の引用に際しては番号のほか掲載頁もできるならば併記することをお願いしたい。
- 7 本目録はアーカイブズ研究系青木睦が担当し、2004・2005年度に松本剣志郎（東洋大学大学院生）・柳衛悠平（学習院大学大学院生）・荒川将（中央大学大学院生）がデータ作成の補助にあたった。

[付記]

本目録の作成に当たっては山田顕五氏はじめ山田家の皆様、中野市教育委員会、長野県立歴史館、

その他御名前をすべて列挙することはできないが、多くの方々・諸機関のご協力をいただいた。

特に山田正子氏（山田家長女、元長野県史編纂室）には山田家の歴史・史料にかかわって多くの御教示をいただいた。加えて、中野市教育委員会生涯学習課文化財係・嘱託指導主事の大滝敦士氏には、図表作成の基礎情報をご提供頂いた。ここに記して謝意を表する。

総目次

口 絵

凡 例

総目次

本文細目次〔文書群の構造〕 1

山田庄左衛門家文書全体解題 3

文書群記号

文書群名

年 代

数 量

入手の経緯

山田家の歴史

文書群の構造と内容

文書群の形態と整理の方針

関連史料

参考文献

目録本文（個別解題）

家 19

掲載図表一覧

図		表	
図1：信州中野市街パノラマ地図	4頁	表1：信濃国高井郡内村名（読み順）・ 現行自治体名一覧	6頁
図2：山田庄左衛門家系図	14頁	表2：大正15年頃の中野市街の通・町名	9頁
		表3：山田顕善履歴（文久4年～明治12年）	16頁
		表4：山田熊太郎履歴（明治14年～大正6年）	17頁

本文細目次〔文書群の構造〕

家	19
経営	19
家計	19
請取書入	(明治5年)壬申7月~	19
受取切手入	明治7年2月~	33
諸請取切符入	明治12年2月~14年2月8日	42
諸請取切符入	明治15年2月~	65
諸受取切符入	明治17年2月~	81
諸請取切符入	明治18年2月~	93
諸請取切符入	明治19年2月~12月	107
諸請取切符入	明治21年1月~23年12月	128
諸請取切符入	明治24年1月~	142
(諸請取切符入)(明治22~41年、26・27年が中心)	150

信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書 全体解題

文書群記号 32H

文書群名 信濃国高井郡東江部村山田庄左衛門家文書（その3）

年 代	目録（その1）	内容年代	延宝2（1674）年～昭和17（1942）年
		成立年代	元禄6（1693）年～昭和17（1942）年
	目録（その2）	内容年代	万治3（1660）年～昭和11（1936）年
		成立年代	元禄11（1698）年～昭和17（1942）年
	目録（その3）	成立年代	明治4（1871）年～明治40（1907）年

数 量 今回目録掲載分3,594点（枝番号をも1点と数える目録上でのレコード数）

目録（その1）の掲載分は、3,507点、（その2）は、4,015点であり、（その3）までで、11,116点である。今回整理したのは、大段ボール箱入り（口絵写真4）と大こおり入り（同写真5）の一部である。この他に今回収録できなかった仮整理のものとして、小ダンボール箱、大こおり入文書の一部、りんご箱1、がある。

入手の経緯

この文書は、1957（昭和32）年に文部省史料館が、原蔵者である山田顕五氏（長野県中野市江部在住）より直接譲り受けたものである。第2次大戦前、山田家の古文書は敷地内の「三階蔵」と呼ばれる蔵に一括保管されていたが、戦争中にこの蔵を売却したため、その際に文書を質蔵、文庫蔵、二間蔵、穀蔵に移して、別々に保管していた。その後、1957年に穀蔵収納分の文書について文部省史料館が譲渡を受けた。質蔵、文庫蔵、二間蔵には今日でも総計で1万点をこえる多量の文書が残されている（アーカイブズ研究系ではこの分についても調査を進め、中野市教育委員会と協力し、『東江部村山田庄左衛門家文書目録』（中野市文化財調査報告書第3集）を刊行する予定で編集を進めている）。

以上のように山田庄左衛門家文書は現在、東京と中野の2か所に分かれて保管されているが、本目録では、同文書のうち史料館所蔵分を「史料館分」、山田顕五氏所蔵分を「現地分」と呼んで区別することにしたい。

山田家の歴史

（1）東江部村の概要

山田家の歴史について述べる前に、まず同家が存在した東江部村について説明しておきたい。信濃国高井郡東江部村は中野扇状地の末端から千曲川沖積地にかけて開け、延徳田圃（えんとくたんぼ、近世では圓徳の字が当てられることも多い）の北縁に位置する。延徳田圃は延徳年間（1489 - 92）に開発されたといわれる低地帯で、千曲川の氾濫原である。中世には東江部・西江部あわせて江部郷と称されたが、慶長検地以前に村切りが行われて分離した。山田家はこの地を開発するために近世初頭に土着したとみられる。

信州中堅市街パラマラ地圖

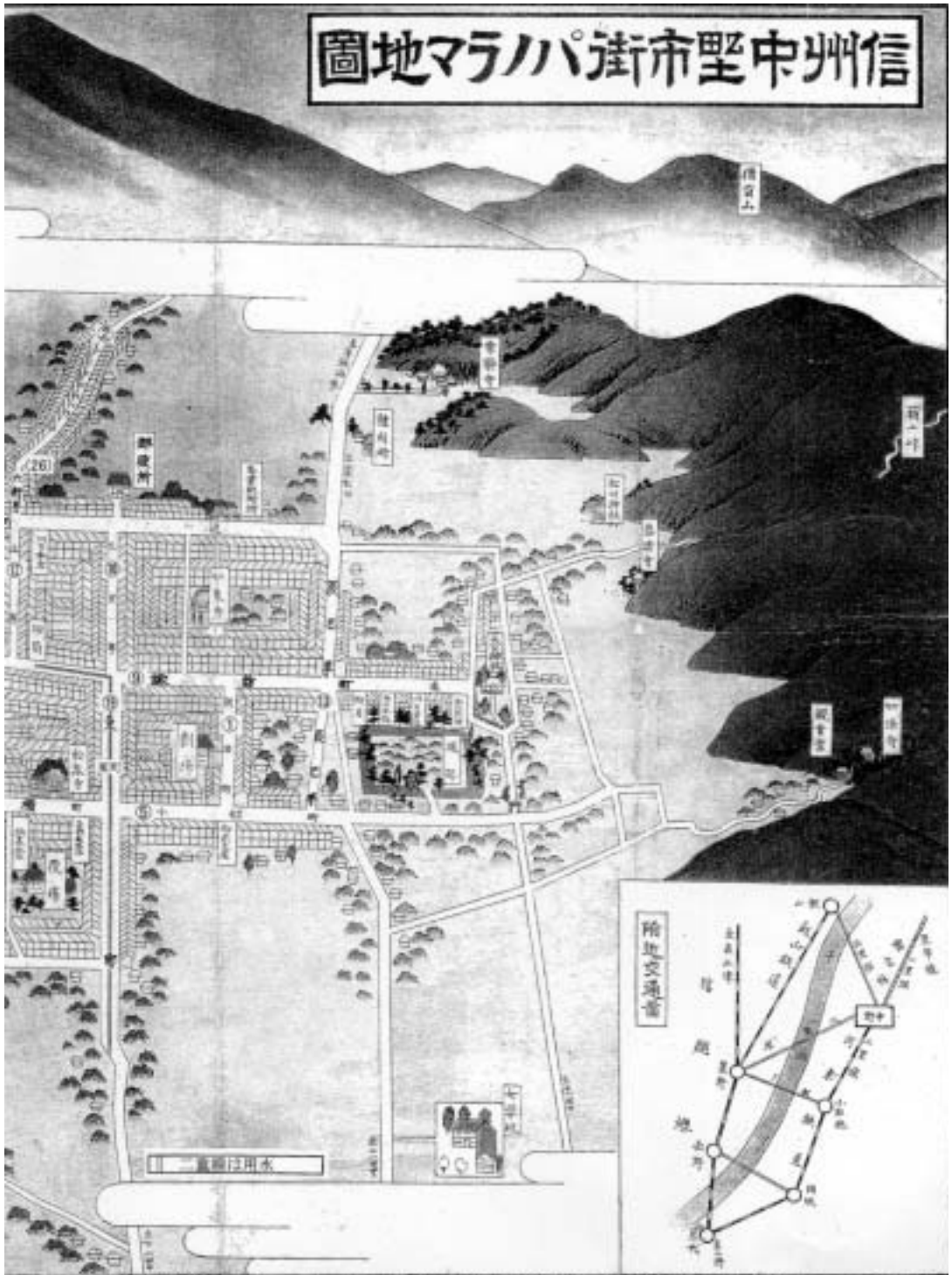


表1 信濃国高井郡内村名(読み順)・現行自治体名一覧

村名	村名よみ	支配	明治22年町村名	現行市町村名
相之島村	あいのしまむら	幕府領(松代藩預所)・松代藩領	上高井郡豊洲村	須崎市
赤岩村	あかいむら	幕府領	下高井郡科野村	中野市
厚貝村	あっかいむら	幕府領	下高井郡長丘村	中野市
荒井村	あらいむら	幕府領	下高井郡平岡村	中野市
安源寺新田村	あんげんじしんでんむら	幕府領	下高井郡高丘村	中野市
安源寺村	あんげんじむら	幕府領	下高井郡高丘村	中野市
飯田村	いいだむら	幕府領(松代藩預所)	上高井郡小布施村	上高井郡小布施町
市割村	いちのわりむら	幕府領	下高井郡往郷村	下高井郡木島平村
一本木村	いっぼんぎむら	幕府領	下高井郡中野町	中野市
稲荷村	いなりむら	幕府領	下高井郡穂高村	下高井郡木島平村
犬飼村	いぬかいむら	幕府領	下高井郡高野村	飯山市
井上村	いのうえむら	幕府領	上高井郡井上村	須崎市
岩井新田村	いわいしんでんむら	幕府領	下高井郡倭村	中野市
岩井村	いわいむら	幕府領	下高井郡倭村	中野市
岩舟村	いわふねむら	幕府領	下高井郡平野村	中野市
牛出村	うしいでむら	幕府領	下高井郡高丘村	中野市
内山村	うちやまむら	幕府領	下高井郡穂高村	下高井郡木島平村
宇原村	うばらむら	松代藩領	上高井郡仁礼村	須崎市
大熊村	おおくまむら	松代藩領	下高井郡延徳村	中野市
大島村	おおじまむら	幕府領(松代藩預所)	上高井郡小布施村	上高井郡小布施町
大俣村	おおまたむら	幕府領	下高井郡長丘村	中野市
大室村	おおむろむら	松代藩領	埴科郡寺尾村	長野市
小河原村	おがわらむら	松代藩領	上高井郡豊洲村	須崎市
奥山田村	おくやまだむら	越後椎谷藩領	上高井郡山田村	上高井郡高山村
押切村	おしきりむら	幕府領	上高井郡小布施村	上高井郡小布施町
小沼村	おぬまむら	幕府領(松代藩預所)・松代藩領	下高井郡延徳村	中野市
小布施村	おぶせむら	幕府領(松代藩預所)・松代藩領	上高井郡小布施村	上高井郡小布施町
小見村	おみむら	幕府領	下高井郡穂高村	下高井郡木島平村
柏尾村	かしおむら	幕府領	下高井郡豊郷村	飯山市
片塩村	かたしおむら	幕府領	下高井郡平野村	中野市
金井村	かないむら	幕府領	下高井郡平岡村	中野市
庚新田村	かのえしんでんむら	幕府領	下高井郡往郷村	下高井郡木島平村
上笠原村	かみかさばらむら	幕府領	下高井郡平岡村	中野市
上木島村	かみぎじまむら	幕府領	下高井郡上木島村	下高井郡木島平村
上条村	かみじょうむら	幕府領	下高井郡平穂村	下高井郡山ノ内町
上新田村	かみしんでんむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
上柳沢村	かみやなぎさわむら	幕府領	下高井郡倭村	中野市
亀倉村	かめくらむら	幕府領	上高井郡仁礼村	須崎市
雁田村	かりだむら	幕府領(松代藩預所)	上高井郡都住村	上高井郡小布施町
川田村	かわだむら	松代藩領	上高井郡川田村	長野市
北大熊村	きたおおくまむら	越後椎谷藩領	下高井郡延徳村	中野市
北岡村	きたおかむら	幕府領	上高井郡小布施村	上高井郡小布施町
北鴨ヶ原村	きたかもがはらむら	幕府領	下高井郡穂高村	下高井郡木島平村
北原新田村	きたはらしんでんむら	幕府領	下高井郡豊郷村	飯山市
草間村	くさむら	越後椎谷藩領	下高井郡高丘村	中野市
九反田村	くたんだむら	幕府領	上高井郡井上村	須崎市
栗林村	くりばやしむら	幕府領	下高井郡高丘村	中野市
黒部村	くろべむら	石見浜田藩領	上高井郡高井村	上高井郡高山村
計見村	けみむら	幕府領	下高井郡往郷村	下高井郡木島平村
小出村	こいでむら	松代藩領	上高井郡川田村	長野市

村名	村名よみ	支配	明治22年町村名	現行市町村名
五関村	ごかんむら	須坂藩領	上高井郡日野村	須坂市
小島村	こしまむら	須坂藩領	上高井郡豊洲村	須坂市
神戸村	ごうどむら	幕府領	下高井郡高野村	飯山市
幸高村	こうたかむら	幕府領（松代藩預所）・ 松代藩領	上高井郡井上村	須坂市
越村	こしむら	幕府領	下高井郡科野村	中野市
小菅村	こすげむら	幕府領	下高井郡高野村	飯山市
小田中村	こだなかむら	幕府領	下高井郡日野村	中野市
駒場村	こまんばむら	幕府領	上高井郡山田村	上高井郡高山村
小山村	こやまむら	須坂藩領	上高井郡小山村	須坂市
坂井村	さかいむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
坂田村	さかたむら	須坂藩領	上高井郡小山村	須坂市
桜沢村	さくらさわむら	幕府領（松代藩預所）	下高井郡延徳村	中野市
篠沢新田村	ささざわしんでんむら	幕府領	下高井郡高野村	飯山市
佐野村	さのむら	松代藩領	下高井郡穂波村	下高井郡山ノ内町
寒沢村	さむさわむら	幕府領	下高井郡穂波村	下高井郡山ノ内町
更科村	さらしなむら	幕府領	下高井郡日野村	中野市
山王島村	さんのうじまむら	幕府領（松代藩預所）	上高井郡小布施村	上高井郡小布施町
塩川村	しおがむら	須坂藩領	上高井郡日野村	須坂市
塩野村	しおのむら	幕府領	上高井郡仁礼村	須坂市
志久見村	しくみむら	幕府領	下高井郡堺村	下水内郡栄村
篠井村	しのいむら	幕府領	下高井郡延徳村	中野市
清水村	しみずむら	越後椎谷藩領	上高井郡都住村	上高井郡小布施町
下笠原村	しもかさらはむら	幕府領	下高井郡平岡村	中野市
下木島村	しもきじまむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
重地原新田村	じゅうじはらしんでんむら	幕府領	下高井郡豊郷村	下高井郡野沢温泉村
新野村	しんのむら	幕府領	下高井郡日野村	中野市
新保村	しんぼむら	幕府領	下高井郡延徳村	中野市
須坂村	すざがむら	須坂藩領	上高井郡須坂町	須坂市
関沢村	せきざわむら	幕府領	下高井郡高野村	飯山市
仙仁村	せにむら	松代藩領	上高井郡仁礼村	須坂市
其綿村	そのわたむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
高石村	たかいしむら	幕府領	下高井郡往郷村	下高井郡木島平村
高井野村	たかいのむら	石見浜田藩領	上高井郡高井村	上高井郡高山村
高遠村	たかとおむら	幕府領	下高井郡日野村	中野市
高梨村	たかなしむら	須坂藩領	上高井郡日野村	須坂市
田上村	たがみむら	幕府領	下高井郡倭村	中野市
竹原村	たけはらむら	幕府領	下高井郡平岡村	中野市
立ヶ花村	たてがはなむら	幕府領	下高井郡高丘村	中野市
田麦村	たむぎむら	幕府領	下高井郡長丘村	中野市
中子塚村	ちゅうじつかむら	越後椎谷藩領	上高井郡都住村	上高井郡小布施町
坪山村	つばやまむら	幕府領	下高井郡豊郷村	下高井郡野沢温泉村
天神堂村	てんじんどうむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
戸狩村	とがりむら	幕府領	下高井郡穂波村	下高井郡山ノ内町
栃倉村	とちぐらむら	幕府領	上高井郡仁礼村	須坂市
中島村	なかじまむら	幕府領（松代藩預所）	上高井郡井上村	須坂市
中条村	なかじょうむら	幕府領（松代藩預所）・ 越後椎谷藩領	上高井郡都住村	上高井郡小布施町
中野村	なかのむら	幕府領	下高井郡中野町	中野市
中村	なかむら	幕府領	下高井郡穂高村	下高井郡木島平村
中山田村	なかやまだむら	越後椎谷藩領	上高井郡山田村	上高井郡高山村
七ヶ巻村	なながまきむら	幕府領	下高井郡市川村	下高井郡野沢温泉村
七瀬村	ななせむら	幕府領	下高井郡長丘村	中野市
西江部村	にしえべむら	幕府領	下高井郡平野村	中野市
西条村	にしじょうむら	幕府領	下高井郡中野町	中野市

村名	村名よみ	支配	明治22年町村名	現行市町村名
西間村	にしまむら	幕府領	下高井郡中野町	中野市
仁礼村	にれいむら	松代藩領	上高井郡仁礼村	須坂市
沼目村	ぬまめむら	須坂藩領	上高井郡日野村	須坂市
野坂田村	のさかだむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
野沢村	のざわむら	幕府領	下高井郡豊郷村	下高井郡野沢温泉村
野辺村	のべむら	須坂藩領	上高井郡高甫村	須坂市
灰野村	はいのむら	須坂藩領	上高井郡小山村	須坂市
八町村	はっちょうむら	松代藩領	上高井郡高甫村	須坂市
羽場村	はばむら	越後椎谷藩領	上高井郡小布施村	上高井郡小布施町
針田村	はりだむら	幕府領	下高井郡高野村	飯山市
東江部村	ひがしえむら	幕府領	下高井郡平野村	中野市
東大滝村	ひがしおおたきむら	幕府領	下高井郡市川村	下高井郡野沢温泉村
日滝村	ひたきむら	須坂藩領	上高井郡日滝村	須坂市
平沢村	ひらさわむら	幕府領	下高井郡往郷村	下高井郡木島平村
平林村	ひらばやしむら	幕府領	下高井郡市川村	下高井郡野沢温泉村
深沢新田村	ふかさわしんでんむら	幕府領	下高井郡科野村	中野市
福島村	ふくじまむら	松代藩領	上高井郡井上村・ 上水内郡朝陽村	須坂市・長野市
福原新田村	ふくはらしんでんむら	幕府領（松代藩領所）	上高井郡小布施村	上高井郡小布施町
壁田村	へきだむら	幕府領	下高井郡長丘村	中野市
保科村	ほしなむら	松代藩領	上高井郡保科村	長野市
前坂村	まえざかむら	幕府領	下高井郡高野村	下高井郡野沢温泉村
牧村	まきむら	石見浜田藩領	上高井郡高井村	上高井郡高山村
馬曲村	まぐせむら	幕府領	下高井郡往郷村	下高井郡木島平村
松川村	まつかわむら	幕府領	下高井郡中野町	中野市
松村新田村	まつむらしんでんむら	幕府領	上高井郡都住村	上高井郡小布施町
間長瀬新田村	まながせしんでんむら	幕府領	下高井郡平岡村	中野市
間長瀬村	まながせむら	幕府領	下高井郡平岡村	中野市
間山村	まやまむら	幕府領	下高井郡日野村	中野市
箕作村	みつくりむら	幕府領	下高井郡堺村	下水内郡栄村
南鴨ヶ原村	みなみかものがはらむら	幕府領	下高井郡往郷村	下高井郡木島平村
虫生村	むしうむら	幕府領	下高井郡市川村	下高井郡野沢温泉村
村山村	むらやまむら	幕府領（松代藩領所）	上高井郡日野村	須坂市
八重森村	やえもりむら	須坂藩領	上高井郡日野村	須坂市
矢島村	やじまむら	石見浜田藩領	上高井郡都住村	上高井郡小布施町
安田村	やすだむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
山岸村	やまぎしむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
山口新田村	やまぐちしんでんむら	幕府領	下高井郡上木島村	下高井郡木島平村
山根村	やまねむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
湯田中村	ゆだなかむら	松代藩領	下高井郡平穂村	下高井郡山ノ内町
吉田村	よしだむら	幕府領	下高井郡平野村	中野市
吉村	よしむら	幕府領	下高井郡木島村	飯山市
米子村	よなこむら	幕府領	上高井郡仁礼村	須坂市
米持村	よなもちむら	幕府領	上高井郡井上村	須坂市
夜間瀬村	よませむら	幕府領	下高井郡夜間瀬村	下高井郡山ノ内町
六川村	ろくがむら	越後椎谷藩領	上高井郡都住村	上高井郡小布施町
若宮村	わかみやむら	幕府領	下高井郡平岡村	中野市
和栗村	わぐりむら	幕府領	下高井郡穂高村	下高井郡木島平村
綿内村	わたうちむら	須坂藩領	上高井郡綿内村・ 上水内郡朝陽村	長野市

[出典] 中野市教育委員会の大滝敦士氏のデータ提供を得て作成した。全体解題9頁参照。

東江部村の領知関係は、はじめ松代藩領（森忠政、松平忠輝）慶長8（1603）年から飯山藩領、元和2（1616）年から幕府領、同5年から福島正則領、寛永元（1624）年から幕府領、天和2（1681）年から坂木藩領、元禄15（1702）年から幕府領、正徳元（1711）年から飯山藩領、享保2（1717）年から幕末まで幕府領であった。周辺地域全体は、初期の変動を経たのち18世紀以降は主として幕府領・松代藩領・飯山藩領などの村々によって構成された。この時期東江部村が属した幕府領は概ね中野役所（代官所）の支配を受けた（中野役所の代官変遷については『中野市誌歴史編（前編）』531頁の表を参照）。

明治以降は、明治元（1868）年2月から信濃旧幕領を接收した尾張藩取締所、同年8月から伊那県中野局、明治3（1870）年9月から中野県、明治4（1871）年6月から長野県の支配に属している。その後の東江部村は明治7年に西江部村と一時合併した後再び分村し（江部村）明治22（1889）年に平野村、昭和29（1954）年に中野市に編入されて今日に至っている。

村高は「慶長打立帳」で387石余、「正保書上」で499石余、「元禄郷帳」で603石、「天保郷帳」で610石余となっており17世紀に著しい伸長が見られる。安永7（1778）年の村明細帳を例に村内の様子

を見てみると、村高603石・反別57町に対して田方418石・反別39町となっており田高が全体の69%を占めており田勝ちと言えるが、田高のうち合計32石5斗が永引高、合計222石5斗が畑扱いとなっている（あわせて田高の61%に相当）。このことは耕地の不安定性を物語っていると言えよう。

産業としては近世後期以降、菜種・木綿の栽培が盛んになっており、「女八太木綿稼」と村明細帳にも記されている。一方、明治期以降大きく展開した養蚕・製糸業がこの地に普及・定着するのは幕末開港以後のことのようである。

山田庄左衛門家文書目録の利用にあたり、小作証文や請取書などに頻出する中野市街および近隣村の地名等の参照のため、（図1、表1・2）を示した。

（表1）「信濃国高井郡内村名（読み順）・現行自治体名一覧」を参考に付した。高井郡村名は、『内閣文庫所蔵史籍叢刊55 天保郷帳（一）』（汲古古書院、1984年刊）村名の読みについては、『長野県地名大辞典』（角川書店、1990年刊）による。支配は、「高井郡郷村変遷」（『長野県史』近世史料編第8巻（二）北信地方、付録48～55頁）

表2 大正15年頃の中野市街の通・町名
（図1に記号を付した）

	朝日町	あさひまち
	アマダドウマチ(阿弥陀堂町)	あみだどうまち
	飯山口	いいやまぐち
	イナリ小路(稲荷小路)	いなりこうじ
	小館町	おたてまち
	蔵前町	くらまえちょう
	シンコー路(新小路)	しんこうじ
	新町	しんまち
	諏訪町通	すわちょうとおり
	大黒町	だいこくちょう
	大門町	だいもんちょう
	立町	たつまち
	辰巳町	たつみちょう
	停車場通	ていしゃばどおり
	天神町	てんじんまち
	中町	なかまち
	西町	にしまち
	八番町	はちばんちょう
	東町	ひがしまち
	東横町	ひがしよこまち
(21)	本町通	ほんちょうどおり
(22)	松川通	まつかわどおり
(23)	緑町	みどりちょう
(24)	三好町	みよしちょう
(25)	湯町	ゆまち
(26)	六軒町	ろっけんちょう
(27)	若松町	わかまつちょう

の参照による。旧信濃国高井郡内の市町村は、2006（平成18）年3月現在の合併はない。

（図1）「信州中野市街パノラマ地図」（著作権発行印刷者 東京亀戸町3700番地田中吉助、発行所 文洋堂、1924（大正13）年10月20日発行）をもとに、（表2）「大正15年頃の中野市街の通・町名」を参考のために収載した。現在の中野市市街町名・大字は、中央1～4丁目、三好町1・2丁目、西1・2丁目、小箱・諏訪町・東山・南宮・大字中野となっており、自治区は、中町・西町・東町・松川・普代・東松川・栗和田である（高井郡松川村は明治8年に中野町と合併、松川・東松川は旧松川村域）。

（表1）のデータ情報、（図1）の複製および現行地名については、中野市教育委員会大滝敦士氏に提供頂いた資料とご教示による。

（2）山田家の活動

活動の詳細については、目録（その1、2）に活動内容ごとに記述があるので、ここでは簡単な概要を記しておきたい。

かつてこの地を支配していた上杉景勝は慶長3（1598）年に中間・小者にまでいたる全家臣団をともなって会津へ移封するが、山田家はその後元和年間に東江部村に土着したと言われている。家の由緒として武田遺臣の伝承を持っている。近世初期の状況を語る史料は多くないが、持高は延宝検地で24石、17世紀中は庄屋も別の家が勤めるなど、当初は村内の有力者の一人であっても最有力者ではなかった。

しかし享保期には村内持高で164石、全所持地で8か村423石にまで成長し、酒造業や年貢米換金・金貸などでも利益を上げていき、村外での集積も拡大している。その後、明治4（1871）年に875石、さらに大正13（1924）年には145町歩と長野県最大の地主に発展していく。この間、東江部村名主は分家の理右衛門・文六など一族が独占するところとなり、庄左衛門家は名主をほとんど勤めず、幕末に郡中取締役・掛屋（中野役所の公金取扱）などを勤めた。また弘化4（1847）年の善光寺地震以降洪水被害がますます深刻化し、地域をあげてこの問題に取り組むようになると、堤防組合惣代を勤め対岸村々との交渉や江戸への出願などに奔走し、明治4（1871）年には千曲川瀬直し工事が完成するに至っている。一方、明治3（1870）年12月に発生した中野騒動では、旧郡中取締役・北信商社社員として屋敷を焼き討ちされている。

明治期には、戸籍区制下で第22区戸長、第43区区长兼第44区区长を勤め、大区小区制下では第19大区副区長として地租改正などの事業を進めた。その後も下高井郡郡書記、下高井郡選出県会議員はじめ多くの公職を歴任するが、明治23（1890）年には貴族院議員（多額納税議員）に選出され、明治31（1898）年3月には分家の理兵衛が自由党から衆議院議員に当選し、同年9月には荘左衛門が憲政党から同じく衆議院議員に当選している。経営面では、明治10（1877）年代以降これまでのような資金貸付と土地取得のための投資を抑えて、より収益のあがる証券投資を積極的に行い、自らも明治23（1890）年に第六十三国立銀行、同38（1905）年に信濃銀行の頭取となっている。

参考までに明治以降に当主を勤めた第11代荘左衛門（顕善）・第12代荘左衛門（熊太郎）の履歴を表3・4に掲げておいた。また上記のほか文化・文政期の山田松斎など文化面での活動も顕著である。

文書群の構造と内容

以上より山田家が多様な活動をしてきたことがうかがえるが、今回の目録では、山田家の組織・活動歴に対応すると、「家」のみのサブ・グループとなる。

家 (詳細は13頁)

以下に、目録(その1、2)のサブ・グループについて、参考のために示しておく。

(その1)	(その2)	(その3)
家 (詳細は1 - 15頁)	家 (詳細は2 - 9頁)	家 (詳細は3 - 19頁)
地主 (1 - 39頁)	地主 (2 - 73頁)	
諸経営 (1 - 145頁)	諸経営 (2 - 107頁)	
堤防組合惣代 (1 - 163頁)	堤防組合惣代 (2 - 167頁)	
村役人 (1 - 179頁)	村役人 (2 - 187頁)	
近代の役職 (1 - 191頁)	近代の役職 (2 - 193頁)	
	書状入袋 (2 - 203頁)	
	郷村仮会所・富田屋 (2 - 215頁)	

本目録においての基本的な考え方は目録(その1、2)と変わっていない。本目録は、多様な活動の所産でもある請取書のまとまりであるため、これまでのサブ・グループの概要について、簡単に紹介しておく。

山田家の場合、地主経営を基盤としつつ酒造業・貸金業などを行い、近代に入っては地主資本を証券・銀行業などへ多角的に投資しているので諸部門の有機的な一体性は重要だと考えるが、これらを一括して「地主経営」などとすると巨大なサブグループができてしまうし、また各部門ごと別々にサブ・グループを立てようとするとう酒造部門、金貸部門、というようには十分確立していないものも多々あるので、やや便宜的ではあるが「地主」関係と「諸経営」関係の2つに大別することとした。

また近世の山田家の経営組織については、明確に組織化されたものを持ってはいなかったと考えられる。それゆえ「家」と「地主」・「諸経営」を区別するのも、厳密に言うならば困難さを伴う。たとえば生活上の出費と経営上の支出が十分区別されずに記録されたり、個々の奉公人の雇傭も家内部での仕事をするためのものか地主手作や酒造のためのものか判別できない。ここでは、明確に組織化こそされていないが、家は単なる生活の場としてだけでなく、地主経営も含めた諸経営を統括する場でもあったと考え、経営全般に関わるような史料はここに編成した。明治期以降の台所や、大正期以降の江部合名会社はこの機能の延長線上にあるのではないかと考える。

文書群の形態と整理の方針

史料整理や目録編成にあたっては、山田家文書が持っている独自の構造を追求することに努めた。そのための手がかりとして保管現状が有する情報が重要であるが、史料の東京への移送、史料館内での度重なる移動などを経て、現在ではあまり多くのことはわからない。ただし、袋・こより紐などによる一括史料はまとめて掲載したり、枝番号を付与するなど物理的階層を明示することを原則とした。帳簿類の丁間に挟み込まれた書付類も同様に枝番号を付与して掲載し、備考にその状況を注記した。

目録(その1、2)では、麻紐で縛ってあったものなど、受入前後の作業であることが明白なものについては、一括を崩して配列した場合もある。その結果、これらの枝番号付文書は親番号や一連の枝番号から離れてリスト上で孤立して存在する形になっている。

目録(その3)収録分は、大段ボール箱(口絵写真4)、大こおり(口絵写真5)の中であって、その包や袋のまとまりが残っていたため、そのままに扱った。

関連史料

目録(その1)を参照。

参考文献

目録(その1)を参照。

【口絵(写真6~10)の解説】

この渋紙の含まれる史料群は、現地の山田家質蔵2階の文書入り箆筒の上に28点がまとめておかれていたものである。襖下張、渋紙、大判和紙張り合わせ紙類である。28点の内、山田家文書によって調製されたものや山田家に関わる包装紙類9点(全体の32%)、山田家以外の他の文書によるもの8点(29%)、文字なしの和紙張り紙・包装紙等11点(39%)である。

山田家ではこの渋紙を生活用品として農作業時の乾燥用敷き紙として使用したり、長持の保護用カバー等に用いてきた。その中に文書が貼り合わせてあることについて、あまり注意をはらわれていなかったという。

以下に、渋紙に台湾文書が発見された経緯とその意義について説明しておきたい。

2003年の史料調査時の8月23日にこのまとまりの保存措置(青木睦が中性紙での包み込み作業中)を実施の際、渋紙の中に台湾文書や日本の文書が張り合わされているのを発見した。台湾文書であることは、大判の朱角印判が捺され部分と「台湾府」の文字(写真7)が確認されたことで、瞬時にあきらかであった。

2004年1月に、高橋実(国文学研究資料館アーカイブズ研究系)の紹介により、台湾史の専門家である呉文星氏(国立台湾師大学歴史学系教授・文学院院长)、黄紹恒氏(国立台湾政治大学教授)、檜山幸夫(中京大学法学部教授)の3氏に現地を訪れていただき、原渋紙文書の調査をした。その調査の結果、清朝末1820年代から1870年代にかけての文書群で、現在の台湾省彰化県内にあった地方役所の档案(公文書)群であることが判明した。台湾の地方档案はほとんど伝残せず、大きな発見であり、清朝末台湾の政治社会史研究のための貴重な史料であると評価された(呉・黄氏)。

日本の文書群は、新潟県魚沼郡・北蒲原郡における明治22年の壮丁名簿、中越富山の明治27年電信文、明治28年の内国和文局報着信原書であり、明治27年の内国和文着信気象報などであった。

このようなことから、日本・台湾の廃棄文書を利用した渋紙の大量生産が行なわれていた可能性が考えられる。そうであれば、いまなおこのような渋紙が各地に残っている可能性は否定できない。

2004年台湾文書の紙繊維を調査したところ、竹の繊維を確認した(写真9)。この台湾文書の場合、目視の観察での簀の目・繊維形状および手触り・風合いなど、異なる特徴を示している(CCD顕微鏡繊維調査:青木睦)。日本の文書用紙は、ほとんどが楮紙である。渋紙に用いられた台湾文書の剥離・修復は、(財)文化財保護・芸術研究助成財団(理事長平山郁夫氏)の助成を得た。剥離・修復により、紙片(史料断片)496枚が確認され、そのうち台湾文書は200枚余りを超える(修復終了日、2005年1月28日)。

参考資料:高橋実「渋紙下張り文書の調査と意義について」2005年4月28日、国文学研究資料館アーカイブズ研究系・台湾歴史史料研究会・中京大学社会科学研究所主催「日本で発見された渋紙台湾文書のアーカイブズ学的研究」の日台国際史料研究会での配付資料

なお、この台湾文書の詳細については、『渋紙に用いられた18世紀日台古文書の世界』(仮)(岩田書院)として出版の予定である。

家 経 営 家 計

年代 成立年代 明治4（1871）年～明治40（1907）年

数量 3,594点

歴史

図2の山田庄左衛門家系図からわかるように、同家は近世前期以来多くの分家を出してきた。主なところでも17世紀に理右衛門家、文右衛門家、茂右衛門家、18世紀に文六家、庄兵衛家、19世紀に山形屋、鶴屋、亀屋（理兵衛家）が分かれた。これら一族の関係は現在でも保たれているが（積善会の運営など）、かつてはより一層緊密なもので、本家の相続人決定の際には諸分家も集めた親族会議が開催されることもあった。

庄左衛門家自体の家の機能としては、消費など生活に関わる面のほかに経営全体に関わる面があったと考えられる。史料には、明治5年以降「御取次衆」「御取次中」、明治6年「御店衆」、「御使中」があらわれ、当主以外の経営を補佐する者があらわれる。明治7年には「御執事所」、明治23年「執事」の職がみえる。また請取宛名には山田家、当主と共に「御本宅」が頻出する。明治17年には「本宅会計課係」、明治20年「勝手」の表記がみられる。

なお、本目録では、明治26年に「帳場」、明治26・27年頃「御用所」の組織があらわれる。目録（その2）には、明治30（1897）年代以降、山田家には台所という組織が形成される。台所は正式にはおそらく「山田本宅台所帳場方」と言うようで、史料には「山田台所帳場」、「山田台所」、「山田帳場」、「山田本宅帳場」などとも表記されている。この台所の帳簿方が「御茶間」（当主とその妻など本家の主要構成員のことと思われる）の監督下で、帳簿に記録しながら、自家消費分の米や味噌仕込みに使う穀物、奉公人飯米、酒造米などの出入を管理していたことなども知られている。

構造と内容

ここでは（1）経営のシリーズを編成した。

（1）経営

ここでは、サブ・シリーズとして「家計」を編成した。その内容は、請取書の9袋、1包の計10件分である。各袋・包の配列は、無年月日の請取類であり、年次推定の便を考慮し、袋を開けた時点の現秩序のままとした。

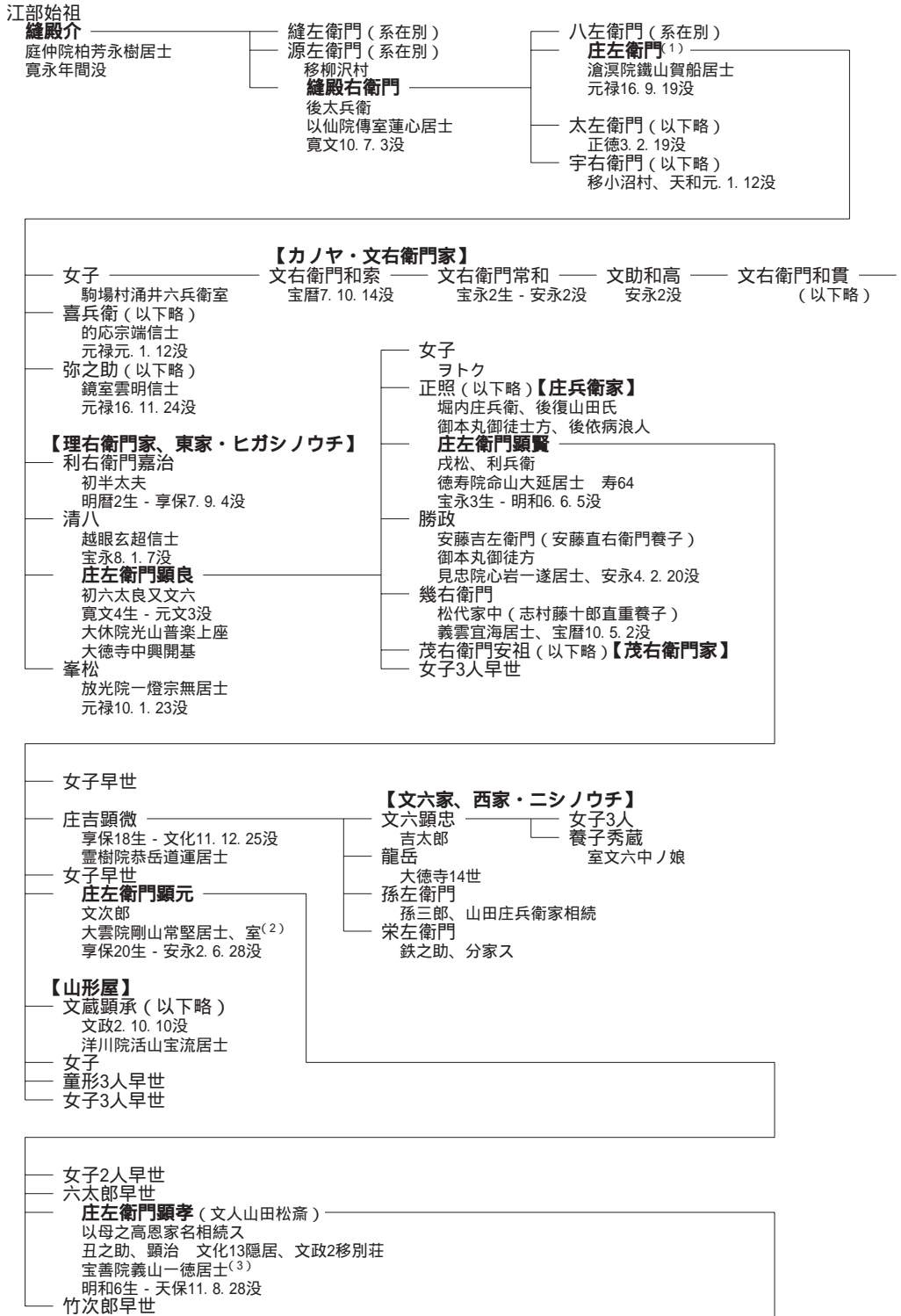
収録したのは、口絵写真1の上段の左から、

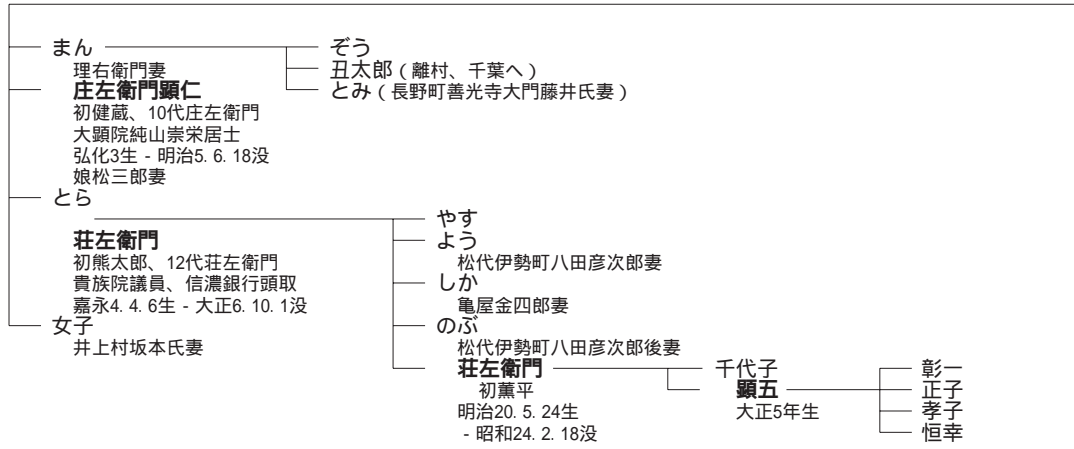
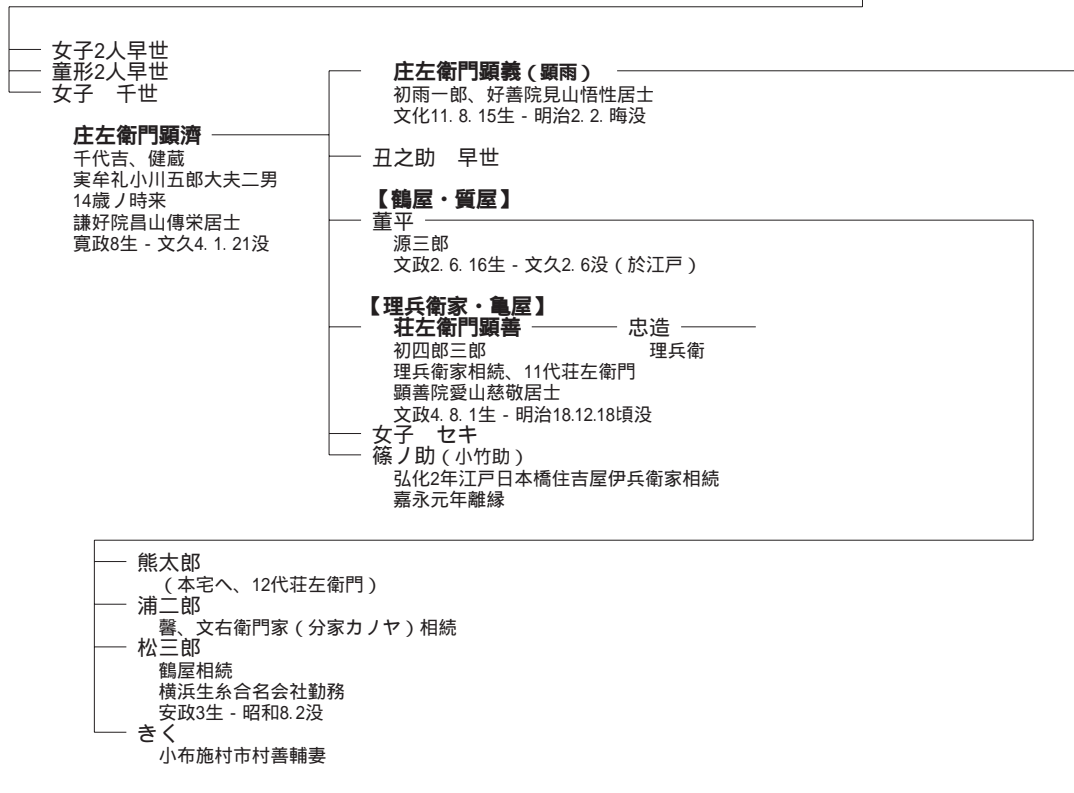
（a）請取書入 [袋書年代：（明治5年）壬申7月～、収録年代 - 明治4～6年分、明治5・6年中心、史料番号1072]

（b）受取切手入 [袋書年代：明治7年2月～、収録年代 - 明治4～8年分、明治7年中心、史料番号1070]

（c）諸請取切符入 [袋書年代：明治12年2月～14年2月8日、収録年代 - 文久3、明治9～16年分、史料番号1068]

図2 山田庄左衛門家系図





・当主名は、第10代までは「庄左衛門」、第11代以降は「莊左衛門」を用いている。
 典拠：「信濃山田氏系譜」(山田顯五氏所蔵)
 「年回弔表」(山田顯五氏所蔵、2-1-20)、明治以降の一部は山田正子氏の御教示によるデータ
 『東江部村山田庄左衛門家文書目録』(中野市文化財調査報告書第3集、中野市教育委員会、2006年3月刊行予定)

註

- (1)「寛文延宝之頃西江部村帳面二東江部村ヨリ入作沖(迎力)伊之介高十五石余ト在、考幼名カト」
「故家ヲ太左衛門讓、別ニ一家ヲナサレタリ、以仙院夫婦ヲ孝養ス」
- (2)「領悟院一山指大姉 顯元君室、顯孝松齊母、飯山上町中野甚左衛門娘」
- (3)「後名静字太古号松齊文化丙子隠居称太一又改縫殿助文政二巴丑移別莊」
「初室長沼村吉村伴七娘無子早死後配中山氏新野村中山五郎右衛門娘四十才而死松齊此春四十九齡也」

表3 山田顕善（第11代当主荘左衛門）履歴

年	西暦	月日	履 歴
文政4	1821	8.1	出生、幼名四郎三郎
弘化元	1844	2	水内郡牟礼村高野式左衛門へ養子、謙介と改名（24才） 同所において水内郡新町大内勘左衛門長女さいと結婚
弘化4	1847	3	同家にて震災、家蔵皆潰
嘉永元	1848		同家離縁、山田へ復籍
嘉永2	1849		妻子改めて大内より山田へ引取
		12	出府、 仏光寺御門跡貸附所 出稼中、山田図書と称す
安政元	1854		浅草黒船町河岸において震災にあい家蔵焼失、三好町へ家作新築
安政6	1859	8	妻子一同帰国、兄縫之介入替出府につき同人宅に仮住居
万延元	1860		本家より分地、江部村分高10石8斗余頂戴、山田理兵衛と改名
文久2	1862	6	兄縫之介江戸にて死去
		8	分家建築落成につき新宅へと居す（本家より300両、その他は自費）
文久4	1864	正	父死去
		4	本家より村方 名主 役引受
		5	18 か村助郷惣代 として出府、間山村小林与左衛門と同道、8月帰村
元治2	1865	3	中山鶯室江戸にて大病につき出府の処、母病気急変につき帰宅
		4.10	母死去
			中山鶯室死後取片付のため出府、坂本幸右衛門と同道、8月帰国
		10	江戸貸付金取片付のため出府、小川五郎太夫と同道、12月帰国
慶応2	1866	2	堤防一件29か村惣代 として出府、丸山要左衛門と同道、4月帰国
明治2	1869	2	本家兄死去
		11	名主退役、文六へ引き渡す
		12	伊那県御用郡中身元ノ者惣代 として伊那郡飯島本県へ出頭、篠田市左衛門と同道、 厩二分金引換方法 につき商社設立の儀申し付けられる
明治3	1870	8	右商社事件につき嫌疑をかけられ、民部省より関係者が召し出され、惣代として出府、小林九之丞と同道、12月帰国
		12.19	夜旧中野陣屋付村々人民暴動のため家宅悉皆焼亡、当分庚申堂に仮寓
明治4	1871		倅忠蔵 横浜商法 にて損失
		11	弟小川五郎太夫死去
明治5	1872	3	妻病にかかる
		6	忠蔵商法一件中野町喜兵衛・弥五左衛門より出訴を受け親子長野県へ出張中、本家健蔵事荘左衛門急死
		9	親戚一同協議の上顕善夫婦本家へ復籍、 第11代相続荘左衛門と改名 、別家は忠蔵事理兵衛と改め家名を譲る
明治6	1873	2	第43区区长 拝命
		6.19	妻病死
明治7	1874	2	長野県庁新築につき郡中惣代として 建営事務重立取扱 方拝命
		3	第44区区长兼務 拝命
		7	第19大区区长 拝命（準15等官・月給9円）、第15中学区取締兼務
		11	為替方小野組瓦解につき当分 出納課附屬 申し付けらる、しばらく勤務の上区長兼務難渋につき御免願
明治11	1878	4.20	県庁願済の上間山小林九之丞同道出京、横浜より松三郎引戻、5月29日同伴帰国
明治12	1879	1.20	郡画改正により副区長廃止、大区会所事務下高井郡郡長大井泰殿へ引き渡す
		1.21	下高井郡郡書記 拝命（14等官・月給12円）、病気猶予を願い12月5日より中野町郡役所に勤務、2月8日・3月4日に辞表差出、3月15日御聞届
		6	「邸内建物配置図建物調」作成（屋敷再建カ）（*）
		11	本家・分家が相和し一致協力するよう「家訓」を定める（*）
		12	岩船・吉田・片塩・江部西組・新保で小作事件、明治13年5月旧通に落着
		-	この年から明治20年にかけて、積極的に証券投資（金禄公債・信濃貯金銀行株・横浜株式取引所株・横浜第二国立銀行株・第六十三国立銀行株など、9年間で計4万1999円（「台帳」*）
明治13	1880	-	六間蔵（穀蔵）を建設（*）
明治14	1881	6.2	讓状（家名・動産不動産）を山田熊太郎宛に作成（2-2.57-2）
		8	山田熊太郎を第11代荘左衛門顕善の養子にとり、妻（9代庄左衛門顕義娘とら）・子供と入籍（後、12代荘左衛門*）

		11.20	養子披露、顕善還暦祝い(3-4.82-7)
		-	金禄公債を松代第六十三国立銀行[のち第六十三国立銀行]・上田第十九国立銀行等に貸与(*)
明治16	1883	11.20	顕善、家相続の熊太郎(第12代荘左衛門)に申付・遺言状を認む(2-2.57-1)
明治18	1885	12	顕善(顕善院)東京にて没(65歳)
		12.20	御追祭(東京浅草公園地宝善堂)(3-4.52)

表4 山田熊太郎(第12代当主荘左衛門)履歴

年	西暦	月日	履 歴
明治14	1881	8	山田熊太郎、第11代荘左衛門顕善の養子となり妻(9代庄左衛門顕義娘とら)・子供と入籍(後、12代荘左衛門)
明治17	1884	9	江部村戸長役場村会議員当選
明治18	1885	7	下高井郡全郡連合町村会議員当選
明治20	1887	4	彰真社(県為替方を分担)経営に参加
		9	下高井郡所得税調査委員に当選
		-	この年、長男董平(後、第13代荘左衛門)誕生
明治21	1888	12	下高井郡選出県会議員補欠に当選
明治22	1889	4	下高井郡平野村村制施行、村長に分家山田理兵衛が就任、下高井郡徴兵参事員に当選
		5	彰真社、信濃銀行と改称し、第12代取締役に就任
明治23	1890	2	下高井郡選出県会議員に当選
		6	第1回貴族院議員多額納税議員に互選
		7	第六十三銀行頭取に就任する(明治24年1月まで)
明治24	1891	5	下高井郡参事会員に選任
明治26	1893	1	第六十三銀行取締役に選任
明治27	1894	5	下高井郡参事会員に選任
		7	分家(山形屋)山田亀吉、江部製糸場を起業(器械製糸100釜、8125斤生産)
明治28	1895	10	製糸直輸合資会社資本金を払い込む
明治29	1896	7	千曲川大水害、山田家の鴨居まで浸水
明治30	1897	4	第12代期、地租1129円(平野・木島・延徳・穂高・住郷・瑞穂・中野・平岡・小布施・都住・秋津・飯山の12町村)、地価金4万5182円で最高額
		6	下高井郡参事会員に選任
		7	第六十三銀行取締役に就任(明治41年8月まで)
		8	農工銀行設立委員
		-	この年、「千曲川瀬直し工事書類」一括永久保管を引き継ぐ
明治31	1898	3	分家理兵衛、第五回衆議院議員選挙(自由党)に当選
		9	第6回衆議院議員選挙(憲政党)に当選
明治38	1905	-	信濃銀行頭取に就任
明治40	1907	7	信濃銀行松下事件により、負債の引き受け
明治41	1908	8	第六十三銀行取締役に・信濃銀行頭取を退任
明治43	1910	8	千曲川大水害、山田家浸水
明治44	1911	8	千曲川大水害、山田家浸水
大正元	1912	-	山田家酒造、水害をのがれて平野村大字吉田に移設
大正2	1913	-	江部信用購買組合設立(組合長綱島林吉・大正13年まで)、第12代と中野町細野勝太郎らの計画した豊野・中野間鉄道敷設計画が認可
大正4	1915	-	第1回山田家小作米品評会(清水六兵衛作の記念盃を配布)
大正5	1916	1	延徳村大字新保の黒崎小一郎らと杞柳植栽目的に原野地所賃借契約(明治39年に関口吾一(東江部)が岐阜県より杞柳苗を取り寄せて試作)
		3	家具・調度・骨董品を売り立てて負債の返済にあてる(長野城山館)
		4	董平(後、第13代荘左衛門)に長男顕五誕生
		-	平野村江部養蚕組合創立(組合長山田荘左衛門)
大正6	1917	4	江部合名会社を設立して、山田家の賃金業務を行う
		10.1	第12代荘左衛門没(67歳)

典拠:「山田顕善履歴」(山田顕五氏所蔵、3-1-5)、表2の(*)印事項および表3の事項は、『東江部村山田荘左衛門家文書目録』(中野市文化財調査報告書第3集、中野市教育委員会、2006年3月刊行予定)に拠った。

凡例: - は、月日不明。項目末の(. . .)の番号は、現地の史料番号。

(d) 諸請取切符入 [袋書年代 : 明治15年2月 ~、収録年代 - 明治12 ~ 17年分、明治15年中心、史料番号1071]

(e) 諸受取切符入 [袋書年代 : 明治17年2月 ~、収録年代 - 明治16 ~ 18年分、明治17年中心、史料番号1065]

口絵写真1の下段の左から、

(f) 諸請取切符入 [袋書年代 : 明治18年2月 ~、収録年代 - 明治11、16 ~ 20年分、明治18年中心、史料番号1069]

(g) 諸請取切符入 [袋書年代 : 明治19年2月 ~ 12月、収録年代 - 明治19 ~ 30年分、明治19・20年中心、史料番号1067]

(h) 諸請取切符入 [袋書年代 : 明治21年1月 ~ 23年12月、収録年代 - 明治20 ~ 23年分、史料番号1066]

(i) 諸請取切符入 [袋書年代 : 明治24年1月 ~、収録年代 - 明治24、30 ~ 31年分、明治30年中心、史料番号1064]

(j) (諸請取切符入) [(収録年代 - 明治22 ~ 41年、明治26・27年が中心) 史料番号473]

以上のように、袋書の年代と内容の年代はほぼ一致している。袋書きのほとんどが「請取」と表記されているのに準拠し、本目録では受取ではなく「請取」を用いた。

請取袋書きの筆跡は、(a)・(b) が第11代荘左衛門顕善によるものと推測される。口絵写真2は、山田顕善が明治5年に書状類(目録その2に収録)と請取書を共に袋を調製し、整理したものである。(c) は、明治14年8月に熊太郎を養子とし、明治16年11月20日に遺言書をまとめる時期以前のものである。顕善は、隠居後に東京に出、明治18年12月に同所において没する。(c) 以降の袋書きの筆跡は、類似していることから、執事および諸事取扱の者によるとみられる。第12代荘左衛門は、村会議員、県会議員等を勤め、明治23年には貴族院議員を歴任するため、文書管理や家計諸般に関しては執事などが担ったと推測される。(d) ~ (j) は、第12代荘左衛門の時期の請取類がまとめられている。関連史料として、目録(その3)の「家/経営」には請取類が含まれており、「明治廿九年七月廿一日後 諸請取書 大洪水以後分」(史料番号760、目録(その2))がある。

表3・4に第11代荘左衛門(顕善)・第12代荘左衛門(熊太郎)の履歴を収録した。請取書の年次ごとの諸活動との参考のために掲げた。

内容は、目録(その2)に関連する史料群である。家計としては、山田家の消費にかかわる代金受取書を主とするが、経営全般に関わると思われるものである。顕善が東京に居を移すことから、東京の別邸となる山田宝善堂の差配人麴池省三(東京浅草公演地梅園北)との往来がある。さらに、第12代が貴族院議員を勤めたなどの理由により、東京での消費生活にかかわる代金受取書も一部含む(明治35年前後の別宅住所は日本橋区浜町3-1であった)。諸事の勘定書等がこれらの袋に入れて管理されていたため、内容は様々な品代、米代、小作料、学校費用、無尽金、綿屋勘定、生活に関わる初等の出納、日雇賃、諸職人等多岐にわたる。納税に関し、明治以降の税金等領収証を中心に、税金算定に関わる書類も含まれる。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

家

経営

家計

「請取書入 壬申七月ヨリ」

(厚和紙貼合袋・コヨリ紐輪付(左側)・39.5×26.0cm)

整理番号1072

(書状、旧藩庁借入金証書御譲り願い) 旧下県正慶上田 溝口重数 山田庄左衛門様 包紙あり	8月13日	切継紙・1通	1072-1
(書状、親類九郎右衛門負債の儀につき推参仕るべきの ところ、至急長野表へ出張につき御猶予願い) 岩舟 村小古井新兵衛 東江部村山田庄左衛門様	8月20日	青罫紙・1通	1072-2
記(中山紙延包1ツ賃550銭受取) なら屋 東山田様	戌2月6日	切継紙・1通	1072-3
(書状、旧新公債の金子持参し御引替願い) 中条村関菊 之助(印) 山田様高下 封筒あり	1月25日	青罫紙・1通	1072-4
(書状、大蔵省より旧藩借入金の御印証下しにつき) 松代水野清右衛門 東江部村山田庄左衛門様	戌1月8日	切継紙・1通	1072-5
覚(かんせう丸他代金7銭1分5厘書上) 代新助 上様	戌1月25日	切紙・1通	1072-6
覚(白他代金4両3分8厘9銭受取) 萬屋林右衛門(印、「信 州飯山本所萬屋」) 江部村山田様	戌2月4日	切継紙・1通	1072-7
記(細嶋ノぬいちん他代金2分4厘9文書上) 木村屋 御 本宅様	1月22日	切紙・1通	1072-8
覚(さしみ他代金2両3分書上) 柳長 山田様	1月23日	切紙・1通	1072-9
覚(細切他代金1両1朱分4厘2文受取) 新保村若松屋波吉 東江部村山田庄左衛門様	戌1月22日	切継紙・1通	1072-10
記(神納金12円66銭9厘落掌) 出雲大社奥川茂吉、金井当 治(印) 第四拾三区山田庄左衛門様	1月24日	罫紙・1通	1072-11
記(品物代金2朱分150文受取) 柳田屋忠兵衛 上 1072-12-1と2は挟込一括	1月10日	切継紙・1通	1072-12-1
記(池の尾1斤代金36銭受取) つたや平兵衛(印) 山田 様	1月10日	切継紙・1通	1072-12-2
(書状、坂口屋事件につき少々ご猶予願い) 中野山岸精 一郎 山田庄左衛門様	1月23日	切継紙・1通	1072-13
記(シヤホン他代金84銭7分5厘受取) 岩下修輔(印) 山田様 1072-14-1～5は「明治七年一月二日長の行」を帯と して一括	1月4日	切継紙・1通	1072-14-1
記(わらし他代金145銭残345文書上) 麻屋廣吉(印、「信 州善光寺東之門町麻屋廣吉」) 山田様	12月	切継紙・1通	1072-14-2
記(品物40玉4両1分1朱分210文受取) 柳屋(印、「信州善 光寺桜小路柳屋」) 上	1月3日	切継紙・1通	1072-14-3
記(三条23冊他代金5両2朱分470文受取) 岩下伴五郎 (印、「信陽善光寺薦屋伴五郎書坊向栄堂」) 第四十三区之 長山田庄右衛門殿	12月	綴・1括	1072-14-4

記(品物1反代金2両3分受取) 山城や仲之介(印、「信州長野山城屋仲之助」) 山田様	1月4日	切紙・1通	1072-14-5
記(人足賃他代金46両3分2朱2貫120文書上) 御本宅様	酉7月31日	切紙・1通	1072-15
記(すき紬他代金4貫800文受取) 塩屋七郎右衛門(印) 上	12月24日	切紙・1通	1072-16
記(油紙包1ツ受取) 花屋儀八 東江部山田様	12月24日	切紙・1通	1072-17
記(鼠羅砂2尺4寸代金2両受取) 山しる屋仲之助(印、「信州中野山城屋仲之助」) 山田様 1072-18-1~3は折畳一括	酉12月25日	切紙・1通	1072-18-1
覚(礼服他代金16両3歩2朱分415文受取) 岩下修舗(印) 山田様	酉12月24日	切紙・1通	1072-18-2
記(礼服ほか落掌願い) 岩下修舗 山田庄左衛門様	12月15日	切紙・1通	1072-18-3
覚(ふり他代金11両1朱分2貫3文受取) 野田屋(印、「信州飯山本町野田屋」) 山田庄左衛門	酉12月20日	切紙・1通	1072-19
覚(手拭1ツ代金3朱受取) 鉄五郎(印、「信州善光寺東町瀧澤」) 上 1072-20-1~4は「癸酉十二月廿日理兵衛長野買物仕切」を帯として一括、1072-20-1~5は挟込一括	12月21日	切紙・1通	1072-20-1
覚(葉1丸代金3分2朱受取) 中沢や与七 上	12月21日	切紙・1通	1072-20-2
記(クツ他代金2両3分2朱受取) 山しる屋仲之助(印、「信州長野山城屋仲之助」) 山田様	酉12月21日	切紙・1通	1072-20-3
記(ほや代金1分1朱受取) 鉄五郎(印、「信州善光寺東町瀧澤」) 上	12月20日	切紙・1通	1072-20-4
記(茶荷16箱受取) 中野町中牛馬定宿 東江部村山田庄左衛門様	酉12月16日	切紙・1通	1072-20-5
記(丸葉他代銀68匁書上) 小林東景	酉12月	切紙・1通	1072-21
記(品物代金4貫520文受取) 長野町 枅取次所(印)	11月29日	切紙・1通	1072-22
口演(時計御渡し願い) 小林 山田様	25日	切紙・1通	1072-23
覚(文五郎他人足他代金1両分1錢8分7厘受取) 大工文五郎 上 1072-24-1~3は巻込一括	酉12月	切紙・1通	1072-24-1
(人足129人半代金16両書上) 大工国太郎 上	酉12月	切紙・1通	1072-24-2
記(大工安治他人足代金47両3朱書上) 大工安治 上	酉12月20日	切紙・1通	1072-24-3
覚(書状1通受取) 上新田茂兵衛 東江部村山田庄左衛門様	10月5日	切紙・1通	1072-25
記(纏子4間1尺他代金2分1朱分錢500文受取) 間山村文左衛門 山形や御蔵様	10月2日	切紙・1通	1072-26
記(御廻章1通受取) 西江部村 1072-27-1~3は挟込一括	癸酉6月25日	切紙・1通	1072-27-1
記(御廻章1通受取) 西江部村 東江部区長様	酉3月5日	切紙・1通	1072-27-2
記(御廻章1通受取) 西江部村	癸酉3月21日	切紙・1通	1072-27-3
記(御布達1通他受取) 西江部村(印)	癸酉2月4日	切紙・1通	1072-28
覚(廻章2通受取) 西江部村(印) 東江部村御役人衆中	4月1日	切紙・1通	1072-29
覚(品物1人前代金2貫400文書上) 着者中 山田松三郎		切紙・1通	1072-30

殿			
覚(きのこ5山代金6文200文受取) 長 や二十吉(印) 上	酉7月3日	切継紙・1通	1072-31
記(和白砂1貫目代金2両2朱分333文受取) 柳田屋忠兵衛 上	6月1日	切紙・1通	1072-32
(椎茸他代金1両3朱407文書上) 1072-33-1~3は折畳一括		切継紙・1通	1072-33-1
覚(中椎茸1斤代金2分1朱受取) 喜多や栴八(印、「善光寺東横町喜多屋」) 上	酉7月2日	切紙・1通	1072-33-2
覚(黒砂1貫目代金1分2朱417文受取) 柳田屋忠兵衛(印) 上	酉7月2日	切継紙・1通	1072-33-3
(池の尾他代金7両827文書上) 上		切紙・1通	1072-34
覚(茄子50個代金2分受取) 大堂仙兵衛(印) 上 1072-35-1~4は1072-35-4を帯として一括	5月27日	切継紙・1通	1072-35-1
覚(小包50他代金2両受取) 泉屋定兵衛(印、「本町一丁目いつみや」) 山田庄左衛門様御店衆中様	酉5月30日	切継紙・1通	1072-35-2
記(茶天3両3分受取) 宮川彦兵衛 上	5月21日	切紙・1通	1072-35-3
記(品物代金3両2朱受取) 古梅園(印、「日本橋南一丁目古梅園」) 上	5月25日	切紙・1通	1072-35-4
記(松金10本代金2貫文受取) 柳田屋忠兵衛 上	6月9日	切継紙・1通	1072-36
覚(波尾2足代金3分2貫330文受取) 吉屋正左衛門 上	6月25日	切紙・1通	1072-37
(書状、蘭売払まで25両拝借願い) 理兵衛 上	30日	切紙・1通	1072-38
(人足賃代金3両3分1朱542文受取) 大工文五郎 上	酉8月7日	切紙・1通	1072-39
覚(ゆば他代金2朱分40文受取) 柳や 山田庄左衛門様	6月22日	切継紙・1通	1072-40
記(極上白紬6反代金3両3歩受取) 大内竹作(印) 大内関次郎様	5月22日	切紙・1通	1072-41
記(たんす1口代金2両1歩2朱受取) 堀口要蔵(印) 山田様	8月25日	切紙・1通	1072-42
記(池の尾1斤代金2分2朱受取) つたや平兵衛(印) 上 1072-43-1~2折畳一括	8月26日	切紙・1通	1072-43-1
覚(通帳代金1歩1朱受取) 柳田屋忠兵衛(印) 上	8月26日	切紙・1通	1072-43-2
記(スポンジ他代金6両2歩2朱分250文受取) 池つや吉右衛門 上 1072-44-1~2折畳一括	8月25日	切継紙・1通	1072-44-1
覚(上々さつまぶし代金64銭8歩受取) 八百屋庄吉(印) 上	8月23日	切継紙・1通	1072-44-2
記(石碑料他4両受取) 周旋人阿弥陀院町中村吉右衛門(印) 山田庄左衛門様	明治6年8月25日	切紙・1通	1072-45
覚(紬3丈代金5両受取) 柳田や忠兵衛(印) 上	2月1日	切継紙・1通	1072-46
記(大嶋弁当他代金2両1歩2朱分181文書上)		折紙・1通	1072-47
記(御用達金10両受取) 東江部村山田庄左衛門代新保村小熊五郎左衛門(印) 更科村文治郎殿	11月29日	切紙・1通	1072-48
覚(榎木他代金40両受取) 蓮村之内田中藤左衛門、金左衛門 江部村山田庄右衛門様	3月19日	切紙・1通	1072-49

記(キニイル1瓶他代金3両3分1朱受取) 山しろや八右衛門 山田様	酉2月22日	切継紙・1通	1072-50
記(分持1個他受取) 第46区副戸長中嶋市兵衛(印) 東江部村山田文七殿		切紙・1通	1072-51
記(火鉢代金6円3分受取) 蔦屋文七(印、「信州善光寺桜小路蔦屋文七」) 上	酉3月23日	切紙・1通	1072-52
記(極上うなぎ20尾代金1円受取) 柳長(印) 山田様	6月2日	切継紙・1通	1072-53
記(不換金8玉受取) 温雅屋正甫 東江部村山田庄左衛門様	4月7日	切継紙・1通	1072-54
覚(ランプ1個他代金3歩2朱受取) 善光寺東町東雲鉄五郎(印) 上	3月15日	切紙・1通	1072-55
記(長沼船銭他代金875文書上)		切紙・1通	1072-56
(十二月納金25両350文書上) 江部庄左衛門		切紙・1通	1072-57
(金26両1分3朱分260文書上) 東江部庄左衛門		切紙・1通	1072-58
覚(縮緬大巾8尺他代金1両1分受取) 新保村若松屋波吉 東江部村亀屋様	酉1月	切継紙・1通	1072-59
覚(申稗代金17両他書上) 山田庄左衛門様、山田理兵衛様		切紙・1通	1072-60
記(白米4斗代金3両1朱分290文他書上) しで田中五郎左衛門	申11月22日	切継紙・1通	1072-61
(廻章1通受取) 第45区区长山堀精一郎(印) 山田庄左衛門様	壬申11月23日	切継紙・1通	1072-62
記(金172両書上)		切紙・1通	1072-63
覚(酒他代金1分2朱受取) 菱屋清兵衛 1072-64-1~2 折畳一括	1月13日	切紙・1通	1072-64-1
記(針治代他1両2分分380文書上)		切継紙・1通	1072-64-2
(書状) 東江部山田庄左衛門 飯山町石山堅造様 開披不可		.	1072-65
覚(さつまいも他代金5両2分書上) 泉元 山田様	申8月8日	切継紙・1通	1072-66
覚(上々のり他代金3両2朱分145文受取) 和泉屋元兵衛 山田様	申7月25日	切継紙・1通	1072-67
(砂糖2斤他代金1両3朱分83文) 1072-68-1~3折畳一括		切紙・1通	1072-68-1
覚(蠟燭立1本代金55分受取) 善光寺大門町神や金作(印) 上	2月22日	切継紙・1通	1072-68-2
記(和三2斤36分受取) 柳田屋忠兵衛 上	3月11日	切継紙・1通	1072-68-3
覚(小杉4本他代金1分2朱分132文受取) 中じまや惣兵衛(印、「信州善光寺西横町中嶋屋」) 上	4月18日	切紙・1通	1072-69
(本膳薩摩芋他書上)		切継紙・1通	1072-70
記(蔦1斤他代金1両1朱分42文受取) つたや平兵衛(印、「御用善光寺大門町蔦屋平兵衛御茶所」) 山田様	1月24日	切継紙・1通	1072-71
記(おさら他代金2朱分900文書上) 赤岩村庄右衛門 山田様	1月26日	切継紙・1通	1072-72
覚(万金丹他代金1歩分383文書上) 代嘉七 御上様	酉1月25日	切継紙・1通	1072-73

記(蕎麦5斗代金1両2分2朱分417文書上)		切紙・1通	1072-74
覚(生ぶり他代金2両1分3朱分375文受取) 柳屋長右衛門 山田様	1月14日	切紙・1通	1072-75
おぼへ(浅草のり3状9包受取) 八百屋庄吉 上 1072-76-1~5折畳一括	1月15日	切紙・1通	1072-76-1
記(蕎麦1斤他代金37分受取) つたや平兵衛(印、「御用善光寺大門町蕎麦屋平兵衛御茶所」) 上	1月19日	切紙・1通	1072-76-2
覚(手拭2反代金3分1朱分140文受取) 松坂屋文二郎 上		切紙・1通	1072-76-3
覚(小杉他代金42銭4分受取) 柳田屋忠兵衛 上	1月19日	切紙・1通	1072-76-4
記(手拭他代金1両3分2朱分1貫530文書上)		折紙・1通	1072-76-5
記(営繕御庁への文書1通受取) 曾我市之丞(印) 山田庄左衛門様 封筒あり	11月24日	切紙・1通	1072-77
おぼへ(1人前金1分2朱分144文書上) 山田本宅様		切紙・1通	1072-78
(かめや様分代金1両2分1朱分375文書上)		切紙・1通	1072-79
記(薬代他1両2分分350文受取) 赤岩村小林元七郎(印) いへ山田様	申12月9日	切紙・1通	1072-80
記(仰許代金5両2分1朱受取) 喜作(印) 江部村山田様	酉1月9日	切紙・1通	1072-81
記(大吉茶4貫200目代金3両2朱分250文受取) 小布施塩屋茶店(印、「信州小布施上町」) 山田様	癸酉1月5日	切紙・1通	1072-82
記(品物279玉代金4両2分2朱分250文書上) サの村白木や亀五郎(印、「信州佐野」) 東江部村山田様	壬申11月22日	切紙・1通	1072-83
記(御廻状4通受取) 更科村役元(印) 御区長中	1月2日	切紙・1通	1072-84
記(飯山他2口金445両書上)		切紙・1通	1072-85
記(26貫目秤1挺代金2両2分1朱受取) 秤座役所(印)	壬申11月19日	切紙・1通	1072-86
覚(池尾1斤代金2分2朱つり1銭5分受取) つたや平兵衛(印、「御用善光寺大門町御茶所蕎麦屋平兵衛」) 山田様	11月19日	切紙・1通	1072-87
記(大工茂吉他人足代金30両2分1朱分1貫375文受取) 工茂吉 御本宅様	1月12日	切紙・1通	1072-88
覚(縄他代金2両1朱分65文勘定願い) 大熊兵作 山形長助様	申11月	切紙・1通	1072-89
覚(大鯛他代金1両3分分45文受取) や百屋平助(印、「信州飯山元町八百屋」) 江部村山田様	申11月29日	切紙・1通	1072-90
記(50人分手間代金4両2分分500文受取) 吉田村屋水や清蔵 上		切紙・1通	1072-91
覚(金4両受取) 芝屋仁兵衛(印、「信州中野芝屋仁兵衛」) 江部村山田様	申11月20日	切紙・1通	1072-92
(筋紙3束代金1分2朱分10貫文受取) いつミヤ		切紙・1通	1072-93
記(メルキ他代金1両3分3朱40文受取) 山城屋八右衛門(印、「信州須坂金銭取引山城屋」) 上	10月22日	切紙・1通	1072-94
覚(大工国太郎他人足代金4両3分3朱分875文書上) 大工文五郎 上	申11月18日	切紙・1通	1072-95

覚(生鯉他代金1両2朱分466文受取) や百屋平助 上	10月19日	切継紙・1通	1072-96
記(池の尾半斤代金2分2朱つり250文受取) つたや平兵衛(印、「御用善光寺大門町御茶所薦屋平兵衛」) 上	10月29日	切紙・1通	1072-97
覚(上溜2升代金1貫600文受取) 米屋溜店(印) 上	10月29日	切継紙・1通	1072-98
覚(漉返紙他代金3両2朱分500文受取) 柳や与吉 東イへ山田様 1072-99-1~3は挟込一括	申霜月2日	切継紙・1通	1072-99-1
記(直綿代1両2分書上) 小妻屋岩助(印) 中村善右衛門様	11月4日	切紙・1通	1072-99-2
覚(縮緬代金1両2朱167文受取) 代新左衛門(印、「長野善光寺大門町吉野屋名左衛門」) 御宿中村善右衛門様、山田様	申霜月4日	切継紙・1通	1072-99-3
記(無尽掛金10円受取) 会主要作(印) 山田御本宅様 1072-100と101は巻込一括	申11月3日	切紙・1通	1072-100
記(無尽掛金10円受取) 会主要作(印) 山田忠蔵様	申11月3日	切紙・1通	1072-101
記(村常吉他駄賃金7両1分分223文書上)		折紙・1通	1072-102
覚(池の尾1斤代金36銭つり6銭受取) つたや平兵衛(印、「御用善光寺大門町御茶所薦屋平兵衛」) 上	9月8日	切紙・1通	1072-103
覚(布3品代金2分1朱分900文受取) よし田や與右衛門(印、「信州神明町吉田屋與右衛門」) 上	申8月21日	切継紙・1通	1072-104
記(染他代金1分2朱分83文書上) 仙樂店省三(印) 山田御本店様	申7月	切紙・1通	1072-105
覚(金300疋落掌) 岡村 御使中	7月14日	切紙・1通	1072-106
記(キャブ代金2両3分1朱他書上)		切継紙・1通	1072-107
覚(3人分手間代金1分5朱分250文受取) くり林かわらや八右衛門 山田庄左衛門様		切紙・1通	1072-108
覚(金7円落掌) 千野重道 山田理兵衛様御使中	7月11日	切継紙・1通	1072-109
覚(品物代金2分3朱受取) (印、「金銀箔彩色本堅地塗物細工所善光寺桜小路松葉屋善光寺善五郎」) 上	8月5日	切紙・1通	1072-110
おぼへ(盈手付金5両受取) トガリ盈屋伊勢吉 東江部村山田様	6月28日	切継紙・1通	1072-111
覚(帳面1冊代金16銭8厘受取) 三崎屋清左衛門(印、「信州善光寺三崎屋清左衛門大福帳」) 江遍村山田様	8月17日	切紙・1通	1072-112
覚(掛金他代金15両分620文受取) 白木世話人八右衛門山田様	7月5日	切継紙・1通	1072-113
覚(蓋瓶蠟次直し他代金1分2朱受取) 玉屋吉治郎(印、「横山町三丁目玉屋」) 清水平八様	5月26日	切紙・1通	1072-114
回答(35円等受取の証書1通落掌願い) 出楚 山田様	壬申8月21日	切継紙・1通	1072-115
覚(池の尾1斤代金36銭受取) 喜多屋平作(印、「善光寺大門町喜多屋平作」) 山田様	8月25日	切紙・1通	1072-116
覚(大豆8石7人へ御渡し願い) 条蔵(印、「信州高井郡東江部」) 長助様	6月26日	切紙・1通	1072-117
覚(45人半人足代金6両3分書上) 新保政右衛門 東江部村山田庄左衛門様 1072-118-1と2は巻込一括	申7月	切継紙・1通	1072-118-1
覚(16人手間代金2両2分書上) 新保政右衛門 東江部村	申7月	切継紙・1通	1072-118-2

山田庄左衛門様			
(黒鉄太兵衛他代金27両2朱書上)	7月14日	切紙・1通	1072-119
覚(大工茂吉他人足代金25両1分1朱分1貫500文受取) 茂吉 御本宅様	申7月9日	切紙・1通	1072-120
記(かめや様分人足代金2両2朱分120文書上)		折紙・1通	1072-121
(書状、戸籍帳の儀納済に付感謝) 六川井だ修 東江 部山田文六様貴殿	8月8日	切紙・1通	1072-122
記(大極上之三方惣金他代金5両2朱書上) 飯山仏師喜 作(印、「信州愛宕町菱屋喜作神仏両道」) 江部村山田様	申7月10日	切紙・1通	1072-123
覚(金2分分永41匁8分書上) 天寧寺世話人 山田熊太郎 様 1072-124-1~4折畳一括	申6月29日	切紙・1通	1072-124-1
覚(金2分分永41匁8分書上) 天寧寺世話人 山田利兵衛 様	申6月29日	切紙・1通	1072-124-2
覚(金2分分永41匁8分書上) 天寧寺世話人 関谷久蔵様	申6月29日	切紙・1通	1072-124-3
覚(セリ金3両3分1朱分永83文3分書上) 世話人 山田 庄左衛門様	申6月29日	切紙・1通	1072-124-4
記(未之九月中より申之九月中まで1ヶ年利足金150両 受取) 須坂小布施茂五郎(印) 東江部村山田庄左衛門 殿	明治5年9月26日	切紙・1通	1072-125
覚(万金丹他代金19銭5分書上) 平田代新助 上様	申8月5日	切紙・1通	1072-126
覚(金3両2分受取) 芝屋仁兵衛(印、「信州中野芝屋仁兵 衛」) 東江部山田様 1072-127-1~2折畳一括	申7月10日	切紙・1通	1072-127-1
覚(織さいく手間代3両2分書上) 芝屋仁兵衛 東江部村 山田様	申7月7日	切紙・1通	1072-127-2
記(目葉代23匁受取) 小林東景 亀屋様	申7月14日	切紙・1通	1072-128
覚(黒紙他代金1両2分2朱分308文受取) とがり盈屋伊 勢吉 東江部村山田様	7月	切紙・1通	1072-129
御入湯中萬御通(油他代金3両2分3朱分2327文受取) 酒屋市郎 山田様御取次衆中様	明治5年9月吉日	横半々・1冊	1072-130
おぼへ(昆布他代金2朱分465文受取) いつ元 上	12月31日	切紙・1通	1072-131
おぼへ(粘入1束代金2分3朱125文) 菊屋久右衛門 上 1072-133-1~8折畳一括		切紙・1通	1072-132-1
覚(長半1丸他代金3両1朱分208文受取) さが や与吉 上	8月12日	切紙・1通	1072-132-2
覚(池の尾他代金5両3歩受取) つたや平兵衛(印) 山田 様御取次中様	8月13日	切紙・1通	1072-132-3
記(白砂1貫代金3両2朱受取) 柳田屋忠兵衛 上	8月13日	切紙・1通	1072-132-4
覚(小倉巾代金2分3朱受取) (印、「長野善光寺大門町現 金かけねなし吉野屋名左衛門」) 上	壬申8月13日	切紙・1通	1072-132-5
覚(品物代金2分500文受取) 米屋免作(印) 上	申8月12日	切紙・1通	1072-132-6
覚(油紙3枚受取) 駿河屋弥吉(印) 上	申8月12日	切紙・1通	1072-132-7
覚(品物代金2分1朱分196文受取) 大福帳三崎屋清左衛 門(印) 江部村山田様	8月13日	切紙・1通	1072-132-8

(白米2斗他代金2両1朱570文書上) 1072-133-1 ~ 16折畳一括		切紙・1通	1072-133-1
覚(酒代他代金2円1分2厘、銭75文受取) 麻屋廣吉 東江部村山田様	酉8月	切紙・1通	1072-133-2
(金3円書付) 麻屋廣吉	8月15日	切紙・1通	1072-133-3
(左官手間代15両1分3朱他書上)		切紙・1通	1072-133-4
(人足代金1両3朱書上)		切紙・1通	1072-133-5
(吉田桶屋分2分1朱、200文書付)		切紙・1通	1072-133-6
覚(人足代金1両2朱416文受取) 大工久蔵 上	8月12日	切紙・1通	1072-133-7
覚(金2両3分3朱分書上) 江戸かじや 山田様		切紙・1通	1072-133-8
記(髪結鼻紙他1両3分2朱138文書付)		折紙・1通	1072-133-9
覚(丸木他代金1両3分書上) 新保牧右衛門 東江部村山田様	酉8月	切紙・1通	1072-133-10
記(柳沢五右衛門分他代金20両1分3朱書付)		切紙・1通	1072-133-11
覚(白糸他代金47銭8分5厘受取) 雲や和助 山田庄左衛門様	8月	切紙・1通	1072-133-12
記(唐糸他代金2朱、30銭3分6厘受取) 伊惣治 東江部村庄左衛門様	酉8月12日	切紙・1通	1072-133-13
おぼへ(嶋1反他代金2分2朱受取) 新保能や惣助 山田庄左衛門様	酉8月12日	切紙・1通	1072-133-14
おぼへ(嶋1反色上他代金2分3朱125文受取) 能屋惣助 山田利兵衛様	酉8月12日	切紙・1通	1072-133-15
記(人足314人手間代34両1分2朱書付)		綴・1綴	1072-133-16
現金酒通帳(山吹他代金30両2朱551文相済) 山形屋蔵理左衛門様 1072-134-1 ~ 2挟込一括	明治4年正月吉日	綴・1綴	1072-134-1
(長棹他代金8両660文勘定相済) 理左衛門 御本宅様	辛未12月	切紙・1通	1072-134-2
覚(品物代金1分2厘受取) すか屋福介 上様 1072-135-1 ~ 2折畳一括	4月23日	切紙・1通	1072-135-1
覚(人足代金25両3朱586文書上) 大工文五郎 上	申7月	折紙・1通	1072-135-2
記(牛肉他代金5両1朱分240文支払)		折紙・1通	1072-136
(金9両3朱分銭500文8月3日迄御預) 玉木世話人 江部山田様 1072-137-1 ~ 2糊で貼付		切紙・1通	1072-137-1
(金7両1朱銭275文六川ふじや方へ御集会御揃) 玉木世話人 江部山田様	8月3日	切紙・1通	1072-137-2
おぼへ(杉他代金1両2銭書付)	申11月6日	切紙・1通	1072-138
記(杉皮12坪代金2分受取) 新保牧右衛門 東江部村栄蔵様	8月5日	切紙・1通	1072-139
覚(なた1丁代金1貫200文他書付) 東江部村山田様		切紙・1通	1072-140
覚(池の尾3斤1両3分500文受取) つたや平兵衛(印、「御用善光寺大門町鷺屋平兵衛御茶所」) 山田様 1072-141-1 ~ 4折畳一括	7月晦日	切紙・1通	1072-141-1
覚(白砂1斤他1両3分3朱受取) 柳田屋忠兵衛 上	7月30日	切紙・1通	1072-141-2

覚(白唐木綿大巾2反代金2分2朱受取) 直吉(印、「長野善光寺大門町現金かけねなし吉野屋名左衛門」) 上	7月晦日	切紙・1通	1072-141-3
記(白砂糖他代金2両1分2朱667厘書付)		切紙・1通	1072-141-4
記(回章1通受取) 新保村役元 東江部村御役人衆中	壬申7月13日	切紙・1通	1072-142
覚(杉正天井板他代金6両3分715文渡済)		切紙・1通	1072-143
おぼへ(金2分1朱180文受取) 吉田村徳兵衛		切紙・1通	1072-144
記(位牌代金1分2朱受取) 喜作(印、「信州飯山愛宕町菱屋」) 山田様	12月23日	切紙・1通	1072-145
覚(大麦2俵代金20銭書上) 車や伊作 東江部村庄左衛門様	未12月	切紙・1通	1072-146
おぼへ(糸入嶋1反他代金1分350文受取書上) 新保村紺屋惣助 山田庄左衛門様	申7月	切紙・1通	1072-147
記(屋根坪他代金3両3分1朱125文書付) 田中空蔵	10月3日	切紙・1通	1072-148
(金25両書付) 上		切紙・1通	1072-149
記(下酒屋株他代金35両1分1朱書付)		切紙・1通	1072-150
(角17坪他代金15両2分2升550文書付) 上川原松蔵		切紙・1通	1072-151
覚(豆腐24丁他代金4貫920文書上) 磯右衛門 山田様	7月14日	切紙・1通	1072-152
覚(末木9本2貫100文受取) 新保牧右衛門 東江部村弥平様	申7月	切紙・1通	1072-153
覚(人足手間代9両3分受取) 大工文五郎 上	申7月15日	折紙・1通	1072-154
記(書状1通受取) 押切村市之丞(印) 山田様	9月12日	切紙・1通	1072-155
覚(生姜他代金2分33文受取) いい山 山田庄左衛門様御取次衆中様	9月20日	切紙・1通	1072-156
覚(池の尾1斤36銭受取) つたや平兵衛(印) 上	9月28日	切紙・1通	1072-157
(赤かんてら1ッ代金10分受取) 吉田屋小兵衛	9月28日	切紙・1通	1072-158
記(證書1通落掌) 修輔(印) 山田様	11月14日	切紙・1通	1072-159
覚(返り金1両3分3朱305文外二利分金5両書上) 天章寺世話人 山田庄左衛門様	申10月朔日	切紙・1通	1072-160
おぼへ(上々たんけん2張代金3分3銭受取) まッばや善五郎 上	9月23日	切紙・1通	1072-161
御用向(御書付1通預り) 佐野村亀五郎(印) 東江部村郡中惣代庄左衛門様	明治5年9月27日	切紙・1通	1072-162
記(書状、貨幣10円受取につき) 恭兵衛(印) 山田様	10月29日	切紙・1通	1072-163
おぼへ(1人前代金2朱分銭350文書上) 着者中より 龜や	11月6日	切紙・1通	1072-164
おぼへ(1人前代金2貫420文書上) 山田庄左衛門様 1072-165-1と2は挟込一括	11月29日	切紙・1通	1072-165-1
おぼへ(1人前代金2貫420文書上) 山田忠造様	11月29日	切紙・1通	1072-165-2
(東京甲源一刀流書付) 大久保又四郎、木村蔵人		切紙・1通	1072-166
覚(酒3合入1本代金3分1朱書上) 角木屋永右衛門(印、	8月3日	切紙・1通	1072-167

「信州飯山本町角木屋」 上			
覚(万金丹代金2朱115文受取) 松屋作兵衛 上様	申7月18日	切継紙・1通	1072-168
覚(き次他代金2朱250文書上) 鉄屋波平 上	7月18日	切紙・1通	1072-169
覚(鼠返紙5束代金3分受取) 柳や与吉 上	申9月24日	切紙・1通	1072-170
覚(御納平他代金3分2朱分つり83文返り書上) ならや 藤右衛門 龜家様	9月2日	切紙・1通	1072-171
記(馬沓他代金2両2分1朱分908文書上)		切紙・1通	1072-172
記(油合体紙1反代金5銭受取) 小嶋屋九助(印) 上	申9月11日	切紙・1通	1072-173
覚(紙2丸代金4両1分2朱受取) つたや重右衛門(印) 江 部村山田様	9月11日	切紙・1通	1072-174
記(内山紙1丸代金2両1分受取) 嶋田や祐四郎 上	壬申9月11日	切紙・1通	1072-175
覚(塩15駄4呎代金18両1分分残752文受取) 柏原村鳶屋 和五郎(印、「信州水内郡柏原宿鳶屋」) 東江部村山田理兵 衛様	9月14日	切継紙・1通	1072-176
覚(茶他代金1両2分2朱14文7分入掌) 若野屋治郎吉 (印、「善光寺伊勢町若野屋」) 上	6月7日	切紙・1通	1072-177
覚(生躰半斤代印2両1朱受取) や百屋平助 上	10月18日	切継紙・1通	1072-178
覚(障子他手合金15両受取) 高井郡上赤和文七 1072- 179-1と2は挟込一括	4月30日	折紙・1通	1072-179-1
覚(から紙他代金15両受取) 高井ノ文七 山田様	1月23日	折紙・1通	1072-179-2
覚(丸木他代金3両1分3朱分300文受取) 新保牧右衛門 東江部村山田様	酉1月	切継紙・1通	1072-180
覚(金玉掛物代金1分1銭受取) 近江屋善兵衛 東江部 山田様、亀屋御宅	申極月	切紙・1通	1072-181
記(弁当他代金1両2朱分900文書上) 菱屋清兵衛 五郎 左衛門様 1072-182-1と2は巻込一括	15日	切紙・1通	1072-182-1
記(弁当他代金2両3分2朱248文書上)		切継紙・1通	1072-182-2
覚(白糸他代金83銭1分受取) 利兵衛様		切紙・1通	1072-183
記(フランデル他代金1両3分3朱分100文受取) 菱屋店 (印、「信州中野町菱栄堂薬種所」) 山田御本宅様 1072- 184-1~5は折畳一括	申極月	切継紙・1通	1072-184-1
記(くわから他代金3朱分242文書上) 黒岩茂左衛門 東江部村山田様御本宅		切継紙・1通	1072-184-2
覚(数の子他代金1両2分3朱分177文書上) 和泉屋元兵 衛 山田様	酉1月31日	切継紙・1通	1072-184-3
覚(福分け2本代金5銭書上) 和泉屋元兵衛 亀屋山田様	酉1月31日	切継紙・1通	1072-184-4
記(麻黄1俵代金3両3分3朱分355文入記願い) ひしや 儀兵衛(印、「信州中野町菱栄堂薬種所」) 山田様	3月8日	切継紙・1通	1072-184-5
覚(火箸他代金1分2朱分133文書上) 北江部庄兵衛 龜 や様 同一の紙に2通の書上が記載	1月28日	折紙・1通	1072-185
(御薬礼金300匠受取) 小林東景 山田庄左衛門様	1月30日	切紙・1通	1072-186
おほへ(上蔦色1反代金1分1朱受取) 新保紺屋惣助 東 江部亀屋様 1072-187と188は挟込一括	酉1月	切紙・1通	1072-187

おほへ(緋 50玉代金2朱分250文受取) 新保紺屋惣助 山田庄左衛門様	酉1月	切紙・1通	1072-188
(金1両受取) 片塩村新吉 東江部村庄左衛門様	1月30日	切紙・1通	1072-189
記(包牡丹5つ他代金1分2朱250文受取) 山城屋伸之助 (印、「信州長野山城屋伸之助」) 山田様	2月13日	切紙・1通	1072-190
覚(大まき他代金2分2朱分2貫380文書上) 三水や倉吉 上	申7月25日	切継紙・1通	1072-191
覚(萬金丹他代金9銭1分7厘書上) 代新助 上様 1072- 192と193は巻込一括	酉2月19日	切継紙・1通	1072-192
覚(実母散他代金38銭7分8厘書上) 代新助 上様	酉2月19日	切継紙・1通	1072-193
(須坂山城屋茶葉代金19両2分書上)		切継紙・1通	1072-194-1
記(返し紙10束代金15貫400文受取) 萬屋久右衛門 上	2月25日	切紙・1通	1072-194-2
多くの手間勘定(手間128人代金4両1分166文書上)		切継紙・1通	1072-195
記(極上物1丸代金2両1分他書上) 萬屋林右衛門 上	酉1月14日	切継紙・1通	1072-196
記(酒代金120両書上) 伊奈 旦那様	酉3月31日	切継紙・1通	1072-197
覚(大海老他代金2朱分9銭受取) のとや平助 上	3月14日	切継紙・1通	1072-198
記(ブリキ品物代金2分2朱250文受取) 上後町福島屋 (印、「信州水内郡善光寺後町福島屋」) 上	2月13日	切紙・1通	1072-199
送券(ぶり三本) 長野中牛馬会社(印) 江部村山田庄左衛 門殿	酉6月26日	青罫紙・1通	1072-200
記(刷毛他代金2分3朱分461文差上)		切紙・1通	1072-201
記(利久酒2本代金2分受取) 永寿や太七(印、「信州善光 寺大門町永寿屋太七薬種所」) 上	6月12日	切継紙・1通	1072-202
記(御状1通受取) 立ヶ花村戸長西条良八(印) 第四十三 区区长副御中	7月9日	切紙・1通	1072-203
水門入費(金2分2朱分601文書上) 村セウ耕作 村弥五 左衛門様 1072-204-1と2は挟込一括	酉6月1日	切紙・1通	1072-204-1
水門入費(金1分1分614文書上) 村セウ耕作 村忠左衛門	酉6月1日	切紙・1通	1072-204-2
覚(金10両受取) 柳や長右衛門 山田様	5月30日	切紙・1通	1072-205
記(間山杉山手入代金1円3分430文書上) 小林 山田 様		切継紙・1通	1072-206
覚(帳8冊代金95銭受取) 三崎屋清左衛門(印、「信州善光 寺大福帳三崎屋清左衛門」) 江部村山田庄左衛門様	11月15日	切紙・1通	1072-207
記(御神薬代金20銭受取) 菱屋店(印、「信州中野町菱栄堂 薬種所」) 山田御本宅様	7月22日	切紙・1通	1072-208
記(御薬代金45匁落手) 小林東景 山田庄左衛門様	7月14日	切紙・1通	1072-209
(5人半分代金2貫750文書上)	7月12日	切紙・1通	1072-210
口演(新野清蔵無尽金10円理太郎に御渡し願い) 田野 伊兵衛 山田理兵衛様	7月29日	切紙・1通	1072-211-1
(山田理兵衛他代金33両2朱分13文書上)		切紙・1通	1072-211-2
覚(とふみ他手金1分受取) 須坂中町吉野屋作右衛門	5月10日	切紙・1通	1072-212

西伊へ村庄左衛門様 (二人代金200文他書上)		切紙・1通	1072-213
(宿入用他代金1両2朱分550文書上) 1072-214-1と2は挟込一括		切紙・1通	1072-214-1
九月二日上田行(弁当他代金1両2分1朱567文書上)		折紙・1通	1072-214-2
記(池の尾1斤代金36銭受取) つたや平兵衛(印) 山田様 1072-215-1と2は挟込一括	9月27日	切紙・1通	1072-215-1
記(白砂糖他代金51両受取) 柳田屋忠兵衛 上	9月27日	切紙・1通	1072-215-2
記(上ト口他代金4両2朱受取) 鉄五郎(印、「信州善光寺東町瀧澤」) 上	9月22日	切紙・1通	1072-216
記(白桐筆笥1本代金11両受取) 蔦屋文七(印、「信州善光寺桜小路蔦屋文七」) 山田様取次衆中	西11月7日	切紙・1通	1072-217-1
記(金1円46銭9厘受取) 中津与三右衛門	11月8日	切紙・1通	1072-217-2
御通帳 柳屋長右衛門 山田様	明治6年6月	横半半・1冊	1072-218
記(金4円遣わし願ひ) 条蔵 理右衛門様	11月16日	切紙・1通	1072-219
記(梅露2升代金8貫文受取) 上坂屋(印) 上 1072-220-1と2は挟込一括	西11月2日	切紙・1通	1072-220-1
記(上々手拭1反代金26銭受取) 三河屋喜助(印) 上	11月3日	切紙・1通	1072-220-2
記(数の子他代金3分3朱分311文受取) 和泉屋元兵衛 山田様御取次中様	西3月29日	切紙・1通	1072-221-1
記(胡麻代金5朱分960文受取) 奈良屋寅吉 上	西3月29日	切紙・1通	1072-221-2
記(をろし1枚代金1分受取) 増屋(印) 定吉様	10月30日	切紙・1通	1072-222
覚(感応丸13包代金3分1朱書上) 奥村傳兵衛 庄左衛門様	西10月29日	切紙・1通	1072-223
覚(しもくかけかね代金6銭受取) おへや友七 山田庄左衛門様	10月8日	切紙・1通	1072-224
覚(御廻章1通受取) 西江部村戸長 区長御中		切紙・1通	1072-225
記(一村限り戸数人員調帳1通他落手につき区長出張所へ指送願) 第四十七区長役代(印) 第四拾三区正副区長御中	西10月9日	切紙・1通	1072-226
覚(品物半斤代金2両2分受取) つた屋茂吉(印) 上	西10月8日	切紙・1通	1072-227
記(品物2斤代金8銭受取) かかや佐助(印、「信州中野東町加賀屋」) 上	10月7日	切紙・1通	1072-228
記(普請代金30両大工文五郎方へ御渡し願ひ) 寒沢伊八(印、「信州寒澤村」) 山田様安太郎様	西10月14日	切紙・1通	1072-229
記(雨戸他代金7両1分受取) 中の 具や国蔵 上	10月7日	切紙・1通	1072-230
覚(蠟燭代金3両相払) いつみや要吉 上	西9月29日	切紙・1通	1072-231
覚(しゐら代金2朱分400文受取) 野田屋平助 上		切紙・1通	1072-232
覚(池の尾1斤代金2分2朱分250文受取) つたや平兵衛(印、「御用善光寺大門町蔦屋平兵衛御茶所」) 上 1072-233-1~4は挟込一括	5月7日	切紙・1通	1072-233-1
(返し紙10束他10銭受取) 後町筆久(印) 東雲鉄五郎様		切紙・1通	1072-233-2

記(ホヤ1本代金9銭受取) 東雲鉄五郎(印、「信州善光寺東町」)	3月24日	切継紙・1通	1072-233-3
(羊羹他代金6両2朱38銭書上)		切継紙・1通	1072-233-4
記(フラネル他代金3両1分3朱受取) 山城屋仲之助 上	酉5月4日	切継紙・1通	1072-234
覚(白鞆緒5足他代金3両2分3朱分2銭7分5厘受取) 香水屋与七(印、「浅草茅町貳丁目香水屋与七」) 上、清水要八様	1月20日	切紙・1通	1072-235
記(玄米500駄代金52両2分1朱分66銭受取) 伊之松(印、「信州高井郡東江部」) 旦那様	酉2月28日	切紙・1通	1072-236
記(あうのミツツ代金2朱受取) 大とや 作 上	6月8日	切紙・1通	1072-237
記(色紙30他代金1分1朱分13文書上) 1072-238-1~3は折畳一括		切紙・1通	1072-238-1
(烏持料代金1朱受取) 中野ならや鉄五郎(印、「信州中野横町奈良屋」) 上	7月6日	切紙・1通	1072-238-2
覚(柳羽数40代金350文受取) おゝかや新兵衛 上	7月6日	切紙・1通	1072-238-3
記(名右衛門作り他40俵代金2貫520文書上) 新保小作人 東江部村山田庄左衛門様		切紙・1通	1072-239
記(品物代金4両釣3分433文受取) 代岩蔵(印、「長野善光寺大門町吉野屋名左衛門」) 山田様	酉5月2日	切紙・1通	1072-240
記(口納金他金24両2分288文書上) 西江部村 山田庄左衛門殿 1072-241-1~2綴一括	酉4月	切紙・1通	1072-241-1
記(壬申口納金他代金2分2朱159文書上) 西江部村 年宿小川千代吉様	酉4月	切紙・1通	1072-241-2
(平助他代金17両1朱92文入手) 中山村 山田様	4月10日	切継紙・1通	1072-242
記(香ろ他代金6両3分受取) 蔦屋文七 上 1072-243-1~6包紙一括、包紙上書「癸丑10月19日自分長野行仕切書」	10月20日	切継紙・1通	1072-243-1
覚(品物代金400銭書上) 中嶋屋惣兵衛 上	8月24日	切紙・1通	1072-243-2
記(水鉢代金2斤203銭受取) 長野長門町藤屋嘉兵衛(印) 山田様	酉10月19日	切継紙・1通	1072-243-3
覚(南京1挺他代金1両1分2朱受取) 岩下修輔 山田様	10月19日	切継紙・1通	1072-243-4
記(印税心得他代金53貫目935文受取) 岩下伴五郎(印) 第43区区长山田庄左衛門様	10月20日	切紙・1通	1072-243-5
(お直し代他35両書付)		切紙・1通	1072-243-6
覚(万金丹他代金15銭7分5厘書上) 新助 上様	酉8月25日	切紙・1通	1072-244
記(杉林未年根払手間44人半代金4両2分1朱書上) 間山村弥八 山田庄左衛門様 1072-245-1~2貼付一括、貼紙あり	申11月	切紙・1通	1072-245-1
記(杉起こし手間44人他代金6両2分2朱書上) 間山村弥八 山田庄左衛門様	申11月	切紙・1通	1072-245-2
記(土瓶代金1分受取) かまくら新八(印) 上様	酉2月2日	切継紙・1通	1072-246
記(先触箱1つ受取) 第43区(印)	11月10日	切紙・1通	1072-247
記(7月仲間割合2人前代金2貫420文書上) 祭世話人 山田松三郎様	9月14日	切紙・1通	1072-248

記(小松井他代金35両117文書上) とがり盈屋伊勢吉 東江部村山田様	8月26日	切継紙・1通	1072-249
(西洋酒他代金14両3分6厘93文書付)		折紙・2通	1072-250
記(極上々手掛地1反他代金3分2朱416文受取) 青木屋 弥兵衛(印、「信州高井郡中野中町」) 山田理右衛門様	11月16日	切紙・1通	1072-251
記(越中薬屋払い他5両3朱311文書付)		切継紙・1通	1072-252
覚(万金丹他代金12円3分5厘書上) 松つい内佐兵衛 上 様	酉8月24日	切継紙・1通	1072-253
記(万金丹他代金37銭2分4厘書上) 代嘉右衛門 御苗庄 左衛門様	酉9月20日	切紙・1通	1072-254
記(山田庄左衛門様鯛一枚他代金41両203銭198文書上) 1072-255-2は255-1に挟込一括		綴・1通	1072-255-1
記(酒肴他代金2両2分1朱525文受取) 中村(印) 山田 御氏	2月14日	切継紙・1通	1072-255-2
記(水泉50本代金50匁受取) 大すみや但馬 上	11月5日	切紙・1通	1072-256
記(池の尾1斤代金2分2朱つり250文受取) 蔦屋平兵衛 (印、「御用善光寺大門町蔦屋平兵衛御茶所」) 上 1072- 257-1と2は挟込一括	12月3日	切継紙・1通	1072-257-1
記(品物2本代金16銭受取) 東雲鉄五郎(印、「信州善光寺 東雲瀧澤」)	12月3日	切紙・1通	1072-257-2
覚(御泊り他代金24銭5厘書上) 麻屋廣吉 東江部村山 田様	酉4月23日	切紙・1通	1072-258
覚(品物代金1分1朱分371文書上) 鈴屋友吉 江部村理 左衛門様	酉8月	切紙・1通	1072-259
記(種水油2朱2合代金1両受取) 片塩村油屋惣吉(印、「信 州高井郡片塩村油屋 吉」) 東江部村山田庄右衛門様	10月11日	切紙・1通	1072-260
記(ハギスリ白他代金4両2分1朱受取) 酒蔵 本宅様	12月11日	切継紙・1通	1072-261
覚(薬1ツ代金2歩受取) 高津友之助(印、「諸薬調合所信州 小布施町高津友之助」) 上	酉12月26日	切継紙・1通	1072-262
覚(白靱鼻緒3足代金28銭5分受取) 香水屋与七(印、「浅 草茅町式町目香水屋与七」) 上	10月31日	切継紙・1通	1072-263
覚(時計代金7円受取) 岩下修補(印、「岩下」) 山田様御 取次中様	12月14日	切継紙・1通	1072-264
記(御書状1通受取) 押切曾我市兵衛(印、「高井郡押切」) 江部村山田様	12月18日	切紙・1通	1072-265
記(71銭2厘5毛受取) 秤座役所(印)	12月18日	切紙・1通	1072-266

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
「受取切手入 明治七年二月ヨリ」 (厚和紙貼合袋・コヨリ紐輪付(左側)・35.2×26.5cm)			整理番号1070
記(御廻章2通受取) 新保村役元(印) 第四拾四区区长様 請取覚 山田代儀左衛門	戌5月28日 未3月	切継紙・1通 横半半帳・1冊	1070-1 1070-2
記(昆布代金12銭5厘受取) いつみや元兵衛 上	7月21日	切紙・1通	1070-3
記(人足賃他51銭6厘受取) 大品同之助(印、「信州浅野信濃屋」) 上	5月5日	切継紙・1通	1070-4
記(極上方寸千言4本他代金75銭落手) 板橋宿文明寺 飯田締造 東京府下第九大区四小区板橋宿平尾明東例	11月6日	切紙・1通	1070-5
記(縮緬他代金81銭7厘受取) 七波屋祭助(印、「信州入布施中村祭助」) 上	4月23日	切継紙・1通	1070-6
記(人足8人分代金1円勘定願い) 片塩村木挽奥右衛門 東江部山田様	亥1月17日	切紙・1通	1070-7
覚(ツほ他代金10銭5厘書上) なへや友七 上		切紙・1通	1070-8
記(番茶川柳1斤代金12銭5厘受取) つたや平兵衛(印、「用掛善光寺大門町薦屋正兵衛御茶所」) 上	2月23日	切紙・1通	1070-9
記(山口絹30枚代金6両1分2朱受取) 吉田や喜右衛門 (印、「信飯山神明町吉田屋喜右工門」) 山田庄左衛門様	戌10月26日	切紙・1通	1070-10
記(御廻章1通受取) 新保村(印) 第四拾四区区长副御中 (書状、金子15両無心願い) 奥 おなか様 1070-12-1~7 は折畳一括	戌6月29日 1月19日	切紙・1通 切継紙・1通	1070-11 1070-12-1
記(タバコ他代金32両2朱168文書上)		折紙・1通	1070-12-2
記(品物代金99銭5厘受取) 中津や与七(印、「信州善光寺後町中興」) 上	1月2日	切継紙・1通	1070-12-3
記(書状、調胴時計1挺直しが長々に相成り詫び申し上げ候) 岩下修舗 山田様	12月27日	切継紙・1通	1070-12-4
覚(硝子他代金1円1朱受取) 近吉(印、「近江屋吉兵衛御鏡吹元所」) 小栞屋全助様	11月25日	切継紙・1通	1070-12-5
記(筆立他代金10両27銭受取) 薦屋文七(印、「信州善光寺桜小路薦屋文七」) 山田様	1月8日	切紙・1通	1070-12-6
山田様記(宿泊他代金11両2分1朱書上)		折紙・1通	1070-12-7
記(笠井払他代金35銭4厘5毛書上)		切紙・1通	1070-13
記(桐箆筭他代金11円受取) 薦屋文七(印、「信州善光寺桜小路薦屋文七」) 山田様	9月17日	切紙・1通	1070-14
記(喜様山1斤代金37銭5厘受取) 薦屋平兵衛(印、「御用善光寺大門町薦屋平兵衛御茶所」) 山田様御取衆中	9月29日	切紙・1通	1070-15
証(桜他代金53円42銭8厘5毛書上) 御はしま様	2月1日	切継紙・1通	1070-16
覚(ちりめん他代金書上) 新保村若松や波吉 東江部村 山田庄左衛門様	亥1月	切紙・1通	1070-17
(ふた茶碗20人前他代金6円25銭書上)	5月11日	切継紙・1通	1070-18

記(外史釈語2冊他代金85銭受取) 須原や茂兵衛(印、「日本橋南町目須原屋茂兵衛」) 上 1070-19-1~5は1070-19-1「記」を帯として一括	11月2日	切紙・1通	1070-19-1
記(品物代金3両3銭2朱受取) 松林屋理助(印) 清水平作様	11月3日	切紙・1通	1070-19-2
(ウルコス他品物書上)	未2月23日	切紙・1通	1070-19-3
(ウルコス9個代金1両他書上)	未5月2日	切紙・1通	1070-19-4
須原屋茂兵衛より(東京町鑑1冊他品物書上)		切紙・1通	1070-19-5
本宅取替分(絹糸染他代金3円18銭9毛書上)	9月22日	切紙・1通	1070-20
記(波の尾1斤代金60銭受取) 薦屋平兵衛(印、「御用善光寺大門町薦屋平兵衛御茶所」) 上	10月17日	切紙・1通	1070-21
(方寸他代金48銭3厘50文受取) 温雅屋栄助		切紙・1通	1070-22
売極メ申一札之事(大豆5石片塩にて受取願い) 売人青木坂こくや清蔵(印、「信州高井郡青木坂穀清」) 東江部村為蔵殿	戌2月21日	切紙・1通	1070-23
記(ブリキ1個代金1円受取) ひし屋伊右衛門(印、「善光寺大門町」) 上	10月23日	切紙・1通	1070-24
覚(品物代金750文受取) 中野中町和泉屋由之助(印、「信州高井中野泉由」) 山田庄左衛門様	6月15日	切紙・1通	1070-25
(書状、小邦氏金借につき長野出張次第取り計らい申す旨) 小林拜 山田様御耐	28日	切紙・1通	1070-26
記(雪駄他代金8円93銭書上) 綿屋助太郎 山田御本宅様	8月30日	切紙・1通	1070-27
記(上ふし1貫600目代金3円1分2朱分250文受取) 小沼清水平八 山田様 1070-28-1~3は巻込一括	9月24日	切紙・1通	1070-28-1
記(東京往入金代金5円50銭他受取) 小沼清水平八(印、「信州高井小沼清水平八」) 山田様	9月28日	切紙・1通	1070-28-2
記(朱肉他代金3円2朱分3銭受取) 小沼清水平八(印、「信州高井小沼清水平八」) 東江部村山田様	戌9月27日	切紙・1通	1070-28-3
記(梅子他代金3円30銭5厘受取) 山城屋仲之助(印、「信州長野山城屋仲之助」) 山田様 1070-29-1~5は折畳一括	戌8月31日	切紙・1通	1070-29-1
記(人力1輛代金25銭書上) 陸運(印)	9月23日	切紙・1通	1070-29-2
記(たばこ1箱代金6円25銭受取) 花屋儀八(印、「善光寺東町花屋儀八」) 山田様	9月24日	切紙・1通	1070-29-3
記(品物筒型1本代金1円75銭受取) 大や藤兵衛 上	9月7日	切紙・1通	1070-29-4
記(リンネル他代金1円18銭受取) 山城屋仲之助(印、「信州長野山城屋仲之助」) 山田様	9月18日	切紙・1通	1070-29-5
記(萬古手付他代金1円3分2朱受取) ふしや嘉助(印、「長野大門藤嘉」) 山田様 1070-30-1~5は巻込一括	戌9月12日	切紙・1通	1070-30-1
記(品物15代金2分受取) 藤川屋藤助(印、「信州善光寺藤川屋藤助」) 上	9月12日	切紙・1通	1070-30-2
記(上々品物代金1両2分受取) (印、「請合金銀箔粉御紋蒔絵御好次第善光寺桜小路町松葉屋善五郎本堅地塗物細工所」) 上	9月12日	切紙・1通	1070-30-3
記(絹キ 1反代金20両2分受取) 合水や十左衛門(印、	戌9月12日	切紙・1通	1070-30-4

「信州善光寺合重」 上			
記(唐津茶 20代金3両受取) 横田屋為仲 山田様	戌9月12日	切紙・1通	1070-30-5
覚(ほうろ他代金55両書上) かじや 山田様		切紙・1通	1070-31
記(金1円受取) 花屋儀八(印、「善光寺東町花屋儀八」) 山田様	8月30日	切紙・1通	1070-32
記(から紙他代金7両2分受取) 高井野村上赤和文七 江部山田様 付箋の貼付あり	9月10日	切紙紙・1通	1070-33
記(家根板他代金11両2分3朱分4匁5分書上) 赤岩家根や仙七 上	9月5日	切紙・1通	1070-34
覚(万金丹他代金3朱145文書上) 成兵衛 上様	戌8月30日	切紙紙・1通	1070-35
覚(大包他代金1両受取) 泉屋定兵衛(印、「本町二丁目いづみや」) 吉田利左衛門様 1070-36-1と2は挟込一括	戌8月28日	切紙・1通	1070-36-1
記(品物代金16銭受取) 銅屋清二郎(印、「大門通油町角銅清」) 上	8月30日	切紙・1通	1070-36-2
覚(万病感応丸代金3分書上) 奥村 庄左衛門様	戌10月19日	切紙紙・1通	1070-37
(24日納金64銭3厘書上) 理兵衛		切紙・1通	1070-38
(24日納金79銭2厘書上)		切紙・1通	1070-39
記(上々三 代金1両3分2朱受取) 片塩村白木新左衛門 東江部村山田庄左衛門殿	8月11日	切紙・1通	1070-40
留(万金丹他代金19円70銭受取) 代新助 上様	戌9月25日	切紙・1通	1070-41
記(土合他代金44銭8毛受取) 長の東町東屋鉄五郎(印) 江部村山田様 1072-42-1~3折畳一括	1月30日	切紙紙・1通	1070-42-1
覚(品物代金15銭7厘書上) 柳田屋忠兵衛 上	亥1月30日	切紙・1通	1070-42-2
おぼへ(石炭油分他代金2円86銭4厘4毛書上)		切紙・1通	1070-42-3
記(薄縁他代金4両3分2朱258文書上) 戸狩村盈屋伊勢吉(印) 東江部村山田様	1月31日	切紙紙・1通	1070-43
記(4丈7寸他代金9円45銭7厘5毛書上) 東谷彦兵衛(印) 山田様	亥2月	切紙・1通	1070-44
記(大火鉢他代金8円受取) 蔦屋文七(印) 山田様御取次衆中様 1070-45-1~9は折畳一括	戌12月18日	切紙紙・1通	1070-45-1
(石油他買い物書上)		折紙・1通	1070-45-2
記(大福1斤他代金1円17銭受取) 吉田たき沢文右衛門(印) 江辺村山田庄左衛門様	12月26日	切紙紙・1通	1070-45-3
記(らせん六通 敷1枚代金7円50銭受取) 山城屋仲之助(印、「信州長野山城屋仲之助」) 山田様	戌12月26日	切紙・1通	1070-45-4
記(白メリス他代金8円96銭2厘5毛受取) 山城屋仲之助(印、「信州長野山城屋仲之助」) 山田様	戌12月8日	切紙紙・1通	1070-45-5
(唐津水鉢代金1円75銭他書上)		折紙・1通	1070-45-6
(茶たんす代金2円他書上)		切紙・1通	1070-45-7
記(品物代金40銭書上) 東雪鉄五郎 山田様	11月28日	切紙・1通	1070-45-8
記(人力車他代金3円80銭6厘受取) 信濃屋周之助(印、「信州浅野信濃屋」) 上	戌12月26日	切紙紙・1通	1070-45-9

記(人足代金54両2分他書上)	戌8月	綴・1綴	1070-46
記(ちり大巾1丈他代金82銭4厘書上) 青木屋弥兵衛 山田庄左衛門様	1月31日	切紙・1通	1070-47
(書状、去る酉5月中神官廃止になり、民籍編入に伴う拝札差控のため難渋に付、御助成願) 志井麿右拜 山田尊君玉座下 1070-47-1~2包紙一括、(包紙「東江部村御宿御世話人山田庄左衛門様参人エ御中、戸流山志井麿」)	戌2月4日	切継紙・1通	1070-48-1
(書状、改年の御吉慶のため、御祈祷修法御被并御神籤呈上に付受納願) 志井麿寛信(花押) 山田庄左衛門様	1月吉日	折紙・1通	1070-48-2
記(返し五兵衛金2両3朱370文受取) 万屋徳三(印) 上 1070-49-1~4折畳一括	10月4日	切紙・1通	1070-49-1
覚(上々白砂他代金59銭受取) 和泉屋定吉(印、「善光寺上後町和泉定」) 上	10月5日	切紙・1通	1070-49-2
覚(白砂1貫目他代金3両2朱80文受取) いつみや定吉(印、「善光寺上後町」) 上	10月4日	切紙・1通	1070-49-3
覚(紺海気1疋代金5円1分2朱受取) (印、「長野善光寺大門現金かけ弥なし吉野屋名左衛門」)代 山田様	10月6日	切紙・1通	1070-49-4
記(米湯2匁代金1貫850受取) 萬屋勘兵衛 上 1070-50-1~3折畳一括	10月5日	切継紙・1通	1070-50-1
記(刀1丁代1両分1貫目受取) 小升屋 上様	戌10月5日	切紙・1通	1070-50-2
おぼへ(6尺2寸用10本他代金書上)		切紙・1通	1070-50-3
覚(品物6円3銭受取) 志田や喜右衛門(印) 山田庄左衛門様 1070-51-1~2折畳一括	亥1月23日	切紙・1通	1070-51-1
記(佐し内山1丸代金2円受取) 萬屋井左衛門(印) 山田様	第1月23日	切紙・1通	1070-51-2
送券(白粉1箱書上) 長野陸送(印) 江部村山田庄左衛門殿	10月5日	切紙・1通	1070-52
記(色紙30枚他代金1貫175文受取) 岩井屋吉右衛門(印、「信州高井中野岩吉」) 上	戌8月29日	切紙・1通	1070-53
覚(白砂1貫目代金32分2朱分250文受取) 柳田屋忠兵衛(印、「信州善光寺柳忠」) 上 1070-54-1~3折畳一括	8月22日	切継紙・1通	1070-54-1
記(地尾1斤代銀36 受取) 萬屋平兵衛(印) 上	8月22日	切紙・1通	1070-54-2
記(長野より浅野まで人力1物代金25銭) 陸送(印)	8月24日	切紙・1通	1070-54-3
記(長野県区長戸長職員録1部受取) 第46区副区长(印) 第43区区长御中	第8月21日	切紙・1通	1070-55
覚(6尺皮4丸他代金6両1朱書上) 牧右衛門 東江部村庄左衛門様	亥1月	切継紙・1通	1070-56
(人足代金50円41銭2厘4毛書上)		折紙・1通	1070-57
(人足代金42円7銭5厘書上)		折紙・1通	1070-58
記(仕代6銭受取) 仕立屋吉之助 上		切紙・1通	1070-59
記(縄2駄2束代1両3貫664文他書上) 間山村酒井次郎右衛門(印) 山田庄左衛門様	戌8月13日	切紙・1通	1070-60
覚(栗染他代金6両と616文書上) 新保牧右衛門 東江部村山田様	戌8月	切紙・1通	1070-61

記(縮緬5尺他代金2円1朱分208文書上) 新保村若松や波吉 東江部村山田庄左衛門様	戌8月	切継紙・1通	1070-62
記(金7円50銭六川ふじや集會費用書上) 玉木世話人 江部山田様 1070-63-1~3折疊一括、1070-63-1~2は糊で貼付		切紙・1通	1070-63-1
記(金7円12月14日迄無心願) 玉木世話人 江部山田様		切紙・1通	1070-63-2
記(無尽懸金利分金14両2步お渡し願) 玉木世話人笹岡前平(印) 東江部村山田様	12月15日	切継紙・1通	1070-63-3
記(志者やへ祝儀他金4両50文書上)		切紙・1通	1070-64
記(封書1通受取) 池田祠掌(印) 区長山田御氏	4月19日	切紙・1通	1070-65
記(懷中時計1つ代金8両2步受取) 岩下修輔 山田様	2月11日	切継紙・1通	1070-66
記(万金丹20粒他代金18銭6步書上) 代嘉七 上	戌4月4日	切紙・1通	1070-67
記(桶木他代金1円77銭5厘書上)		切紙・1通	1070-68
記(萬石紬1反代金25銭受取) ますや太七(印) 山田様	10月23日	切紙・1通	1070-69
送り記(破風1枚他賃金1円95銭書上) 栗林かわらや八右衛門(印、「信州高井郡栗林村瓦屋」) 東江部村山田様	戌11月30日	切継紙・1通	1070-70
おぼへ(白なし1個代金30銭受取) つたや万之助(印、「信州小布施上町薦屋万之助御菓子所」) 山田様 1070-71-1~2折疊一括	6月1日	切継紙・1通	1070-71-1
覚(金6円受取) 高井野村文七 江部村山田様	戌5月30日	豎切紙・1通	1070-71-2
日記(金 円受取) 中の多吉 山田庄左衛門様	戌6月3日	豎切紙・1通	1070-72
記(御水鉢受取) 志の井(印) 東江部村山田庄左衛門様	5月26日	切紙・1通	1070-73
記(風呂敷包1つ他受取) 小布施村役元 江部村戸長副役中	6月6日	切継紙・1通	1070-74
記(白砂1貫代金2步2朱分250文受取) 柳田屋忠兵衛(印、「信州善光寺柳忠」) 上 1070-75-1~7折疊一括	6月8日	切継紙・1通	1070-75-1
(縄他買い物代金42円42銭5厘書上)		豎切紙・1通	1070-75-2
記(はい弥代山田正左衛門分2円受取) 山城屋伸之助(印) 曾私新造様	第6月10日	切継紙・1通	1070-75-3
記(薦平払他1両1步3朱分225文書上) 寅太郎		切紙・1通	1070-75-4
記(薦の花半斤他代金80匁受取) 薦屋平兵衛(印) 上	戌6月11日	切紙・1通	1070-75-5
記(金箔50枚代金2朱2分受取) 越前屋 吉(印、「信州善光寺上西町越前屋」) 上	6月8日	切紙・1通	1070-75-6
記(ヨビリン1つ他代金30両1分受取) 山城屋伸之助(印) 山田様	戌6月9日	切継紙・1通	1070-75-7
(白さとう1貫目代金1両52銭5厘他書上)		切継紙・1通	1070-76
記(薦の花半斤他代金3步1朱250文受取) 薦屋平兵衛(印) 上 1070-77-1~4折疊一括	戌7月7日	切紙・1通	1070-77-1
記(切昆布1玉代金1匁朱受取) 八百屋庄吉(印) 上	7月7日	切紙・1通	1070-77-2
記(つたや平兵衛払他金1両3朱分125文書上) 寅太郎		切紙・1通	1070-77-3
記(赤がね代他代金3円12銭5厘受取) 石田筆吉(印)	5月24日	切継紙・1通	1070-77-4

山田様			
覚(まぜ 代金1歩書上) 屋源兵衛 上	5月8日	切紙・1通	1070-78
記(桐八分板19枚代金2円39銭6厘受取) 佐野村亀五郎 代源蔵 東江部村山田様	第6月22日	切紙・1通	1070-79
記(伐木代金17両受取) 赤岩村湯本彦吉(印)	戌7月10日	綴・1綴	1070-80
記(刻山 玉入2箇代金相払い) 柳屋久助(印、「信州善光 寺桜小路柳屋」) 片塩村塩屋蔵兵衛様	7月31日	切継紙・1通	1070-81
記(御廻章1通受取) 新保村(印) 第四拾四区区长副御中	戌6月20日	切紙・1通	1070-82
記(極上板付他代金10両受取) かじや源吉(印) 山田様	7月12日	切継紙・1通	1070-83
記(御廻章1通他受取) 新保村(印) 第四拾四区区长副御 中	戌7月14日	切紙・1通	1070-84
覚(さらし布直し代金8銭7分5厘受取) 高はし藤吉 上	3月19日	切紙・1通	1070-85
記(山田理兵衛殿より貸金催促訴状受取) 高井郡須坂 町戸長牧新七(印) 東江部村理兵衛殿代音人山田理右衛 門殿	明治7年3月1日	切紙・1通	1070-86
記(石油他代金2両3朱受取) 笠井長三郎(印、「信州水内 郡権堂村笠井長三郎」) 山田様	3月19日	切紙・1通	1070-87
記(時計袋他代金28銭7厘5毛受取) 山城屋仲之助(印、 「信州長野山城屋仲之助」) 山田様	5月3日	切継紙・1通	1070-88
記(石油1斗代金1両3分2朱分415文受取) 東雲鉄五郎 (印) 山田庄左衛門様、利右衛門様	2月19日	切紙・1通	1070-89
記(郵便御判他代金1分3朱受取) 花川た兵衛(印、「花 川」) 山田庄左衛門様	3月23日	切紙・1通	1070-90
覚(品物代金5両分2貫文受取) 中嶋屋惣助(印、「信州善 光寺西横町中嶋屋」) 山田庄左衛門様	10月23日	切継紙・1通	1070-91
記(白ちりめん他代金3両2分2朱受取) 山城屋仲之助 (印、「信州長野山城屋仲之助」) 山田様	戌7月30日	切紙・1通	1070-92
記(金子5両無心通し願ひ) 伊八(印、「信州寒澤村」) 御 造倉様	4月21日	切紙・1通	1070-93
記(御廻章1通受取) 間山村小林市兵衛(印、「信州高井間 山小松屋」)	7月14日	切紙・1通	1070-94
記(洒水4合代金12銭受取) 奈良寅(印、「信州高井郡中 野」) 上	7月21日	切紙・1通	1070-95
覚(急投のお礼につき金2円受取願ひ) 千野亥道 山田 庄左衛門様御使中	7月24日	切継紙・1通	1070-96
覚(舶来水や代金15銭受取) 桜井喜作(印) 上 1070- 97-1と2は挟込一括	戌8月8日	切紙・1通	1070-97-1
覚(火 代金2分受取) 柳田屋忠兵衛 上	戌8月12日	切紙・1通	1070-97-2
記(廻章1通受取) 新保村(印) 東江部村正副区長御中	3月12日	切紙・1通	1070-98
記(麦まき胡麻 4貫目受取) 奈良吉兵衛 山田様	戌8月10日	切紙・1通	1070-99
送り記(瓦440枚送り) 栗林瓦屋八右衛門(印、「信濃高井 郡栗林村瓦屋」) 東江部村山田様 1070-100-1と2は巻込 一括	戌11月28日	切継紙・1通	1070-100-1
送り記(平瓦640枚送りにつき受取願) くり林瓦屋(印、	戌11月29日	切紙・1通	1070-100-2

「信濃高井郡栗林村瓦屋」 東江部村山田様			
記(源紙形他3円2分133文書上) 加賀屋佐助 山田庄左衛門様	11月28日	切継紙・1通	1070-101
記(大黒36本代金4円分20銭受取) 山屋源四郎(印、「信州長野大門町山屋」) 上	12月3日	切紙・1通	1070-102
記(唐津小力メ他代金13円受取) 蔦屋文七(印、「信州善光寺桜小路蔦屋文七」) 山田様御取次衆中様	12月1日	切継紙・1通	1070-103
記(茶筆筒他代金2円受取) 蔦や文七(印、「信州善光寺桜小路蔦屋文七」) 山田様	戌11月21日	切紙・1通	1070-104
記(石灰小1駄代金1両2朱分781文書上) 袋屋店(印、「信州中野西町袋屋」) 山田様	10月14日	切継紙・1通	1070-105
記(朱子他代金2両2分3朱受取) 山城屋仲之助(印、「信州長野山城屋仲之助」) 山田理左衛門様	戌10月23日	切紙・1通	1070-106
記(人足他代金42円書上) 石上池上吉蔵 山田様	戌8月	切継紙・1通	1070-107
記(油紙2枚代金2朱300文受取) つちや幸助(印、「信州善光寺槌屋」) 上 1070-108-1～8は「(代金24両3分175文書上)」を帯として一括	2月15日	切紙・1通	1070-108-1
記(宿泊他代金10両1分2朱分66文受取) 山田様	2月14日	折紙・1通	1070-108-2
記(池の尾1斤代金2分2朱分250文受取) 蔦屋平兵衛(印、「請取」) 上	2月14日	切継紙・1通	1070-108-3
記(返紙代金5朱受取) 柳田や忠兵衛(印、「信州善光寺柳田屋」) 上	2月13日	切紙・1通	1070-108-4
覚(春土ヒん1本代金1銭受取) 藤屋治助(印、「信州善光寺大門町藤屋治助」) 上	2月14日	切継紙・1通	1070-108-5
記(品物代金1円2朱受取) 蔦や文七(印、「信州善光寺桜小路蔦屋文七」) 山田様	戌2月12日	切紙・1通	1070-108-6
記(時計鎖直し代金2円受取) 岩下修輔(印) 山田様	2月14日	切紙・1通	1070-108-7
(預り金98両1分3朱40銭書上)		切紙・1通	1070-108-8
記(お直分薩摩布他代金9両2朱書上) 御直店 御本宅様	4月10日	切紙・1通	1070-109-1
記(絹糸他代金18両3分1朱24銭4厘書上)		切継紙・1通	1070-109-2
記(大水かめ代金2円受取) 蔦や文七(印、「信州善光寺桜小路蔦屋文七」) 山田様御取次衆中	戌4月12日	切紙・1通	1070-109-3
記(鼠まキシヤツ1枚代金2円1分2朱受取) まつゐや佐兵衛(印、「信州善光寺西町佐兵衛」) 上 1070-109-1～4は「甲戌四月十一日長の行」を帯にして一括	4月11日	切紙・1通	1070-109-4
記(中綿代金4両受取) 福島や与兵衛(印、「信州善光寺根之本福島屋」) 江邊村庄左衛門様	4月7日	切継紙・1通	1070-110
記(請合横口鉄砲風品金1ツ他代金5円2歩分2銭7分受取) 葉舗や藤八(印、「信州善光寺上 町葉藤」) 上、本町花屋儀八様へ	戌5月4日	切継紙・1通	1070-111
記(こなら4束代金2分1朱受取) こしまき高山久五郎	戌10月17日	切紙・1通	1070-112
記(上縺子他代金2円75銭5厘受取) 山城屋仲之助(印、「信州長野山城屋仲之助」) 山田様	戌10月31日	切紙・1通	1070-113
記(池の尾1斤代金60銭受取) 蔦屋平兵衛(印、「用掛善光	(明治)7年9月11日	切紙・1通	1070-114-1

寺大門町御茶所蔦屋平兵衛) 上 1070-114-1と2は折畳一括			
記(品物1本代金2朱分2百文受取) 信濃屋周之助(印、「信州浅野信濃屋」) 上	9月11日	切紙・1通	1070-114-2
覚(なんはん他代金1両1分1朱分3銭3分5厘受取) なへ屋友吉 山田庄左衛門様	12月11日	切紙・1通	1070-115
記(回章1通他受取) 新保村西沢虎蔵(印) 東江部村山田様御使中	4月8日	切紙・1通	1070-116
記(御嶽庁ヨリ1通脚使賃5銭3厘支払願い) 中の郵便取扱所(印、「御用郵便信州中野取扱所」) 第四十七区戸長副御中	4月9日	切紙・1通	1070-117
記(人足2人分他代金19銭3厘受取) 信のや(印、「信州浅野信濃屋」) 上	3月30日	切紙・1通	1070-118
(書状、遅滞なく廻達人へ渡すべし) 郵便役所(印、「信州長野郵便役所」) 山田庄左衛門中 2通の書状を貼りついて1通としている	2月15日	切紙・1通	1070-119
記(しゃく2つ代金8銭8分受取) 相之木葉鐘屋嘉太郎 1070-120-1~4は挟込一括	5月16日	切紙・1通	1070-120-1
覚(縮緬2尺2寸代金1円受取) 代喜太郎(印、「長野善光寺大門町吉野屋名左衛門」) 上	5月15日	切紙・1通	1070-120-2
(唐水1反代金2円受取) (印、「諸国かつをぶし品々善光寺西横町小妻屋宗助」)	5月15日	切紙・1通	1070-120-3
記(茶漬茶碗20人前他代金6円25銭書上) 熊太郎江渡	甲戌5月11日	切紙・1通	1070-120-4
記(蔦屋平兵衛払他代金3分3朱分545文書上)		切紙・1通	1070-121-1
記(池の尾他代金1円2分3朱分1銭2厘5毛受取) 蔦屋平兵衛(印、「御用善光寺大門町蔦屋平兵衛御茶所」) 山田庄左衛門様御執事所	戌5月21日	切紙・1通	1070-121-2
記(黒砂500目他代金3分2朱分333文受取) 柳田屋忠兵衛 山田庄左衛門様	5月21日	切紙・1通	1070-121-3
記(小豆1斗代金1分1朱分446文受取) 片塩村永峯清蔵(印、「信濃国高井郡片塩村永峯清蔵」) 東江部村山田庄左衛門様	戌5月15日	切紙・1通	1070-122
(回章1通受取) 新保村戸長(印) 区長様	4月23日	切紙・1通	1070-123
記(番茶他代金2分2朱差上) 関太郎 孝之助様		切紙・1通	1070-124
覚(5人前他代金8両2朱分315文) 柳長 布袋屋様	4月16日	切紙・1通	1070-125
記(南天1本代金15分受取) 長野大門町山屋源四郎(印、「信州長野大門町山源」) 上	11月3日	切紙・1通	1070-126
記(池の尾1斤他代金1円受取) つたや平兵衛(印、「用掛善光寺大門町蔦屋平兵衛御茶所」) 上	11月4日	切紙・1通	1070-127
記(筆筒1本他代金10両2分受取) 蔦屋文七(印、「信州善光寺桜小路蔦屋文七」) 山田様	戌11月1日	切紙・1通	1070-128
記(借用証文1通受取) 新井村戸長(印) 東江部村山田庄左衛門殿	戌3月16日	切紙・1通	1070-129
記(あんま料他代金5両3分310文書上) 花屋儀八 山田熊太郎様	12月24日	切紙・1通	1070-130
記(蔦の花1斤代金2分つり335文受取) 蔦屋平兵衛(印、	3月6日	切紙・1通	1070-131-1

「用掛善光寺大門町鷲屋平兵衛御茶所」 上 1070-131-1 ~3は「戌三月九日帰宅長野行仕切」を帯として一括			
記(御用紙10束代金3分2朱御つり83文受取) 柳田屋忠 兵衛 上	3月1日	切紙・1通	1070-131-2
記(品物代金9銭受取) 信濃屋周之助(印、「信州浅野信濃 屋」) 上	3月9日	切継紙・1通	1070-131-3